Panasonic

# 施工説明書
## 温水洗浄一体型便器

全自動おそうじトイレ

# アラウーノ

CH1601/CH1602

施工手順を動画で見る
https://www.youtube.com/watch?v=BpoPHtJdFtA

品番

| タイプ | | 便器 | 給排水部材セット | 対応排水芯 |
|---|---|---|---|---|
| 床排水タイプ | 標準 | CH1601□□■(7)(L) | CH160F (CH160FM) | 120 mm ・200 mm |
| | | CH1602□□■(7)(L) | | |
| | | CH1602□□G■(7) | | |
| | リフォーム | CH1601□□■(7)(L) | CH160FR (CH160FM) | 305 mm ～470 mm |
| | | CH1602□□■(7)(L) | | |
| | | CH1602□□G■(7) | | |
| | リフォームダイレクト | CH1601□□■(7)(L) | CH160FW | 305 mm ～510 mm |
| | | CH1602□□■(7)(L) | | |
| | | CH1602□□G■(7) | | |
| 壁排水タイプ | 標準 | CH1601P□□■ | CH160FP | 120 mm ・155 mm (別途、CH160Zの手配が必要です) |
| | | CH1602P□□■ | | |
| | | CH1602P□□G■ | | |

※ □□…便ふたあり仕様：WS　便ふたなしキャップ仕様：FC
※ ■ …アルファベットが入る場合があります
(7)…寒冷地仕様
(L)…タイル床仕様
※CH160FMは、標準タイプの床フランジとリフォームタイプの排水アジャスタが同梱された、配管セットマルチタイプです。

## もくじ


安全上のご注意 2
施工チャートともくじ 5
取り付け前に 8
各部の名前と部品表 9
寸法図 12
給水位置の確認と止水栓の取り付け 14
●床排水タイプ
標準タイプの取り付け 15
リフォームタイプの取り付け 20
リフォームダイレクトタイプの取り付け 25
●壁排水タイプ
後ろ抜きの場合 30
排水ジョイント接続の場合 33
共通の施工手順 41
施工後の確認 54
引き渡し 54


■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
**特に「安全上のご注意」（2～4ページ） は、施工前に必ずお読みください。**
■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
■施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。
■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

# 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

| | |
|---|---|
| 禁止 | してはいけない内容です。 |
| 必ず守る | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠警告

### 禁止

**全般**

- **分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対に行わない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **浴室など湿気の多い場所に設置しない**
- **水洗いができる床に設置しない（タイル床仕様、CH1602＊Gを除く）**
  感電・火災・故障の原因になります。

**電気に関すること**

- **電源コードを無理に引っ張らない**
  けがや発火、発煙の原因になります。
- **便器の操作部、電源プラグに水や汚水をかけない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **ぬれた手で電源プラグを触らない**
  感電の原因になります。
- **便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

**電気に関すること**

- **傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない、また電源コードの屈曲など破損するようなことはしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない**
  感電や火災のおそれがあります。

### 必ず守る

**全般**

- **必ず施工説明書に従って施工する**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **必ず上水道に接続する**
  上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

**電気に関すること**

- **必ず交流100 Vで使用する**
- **コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- **アース工事［D種（第3種）接地工事、接地抵抗100 Ω以下］を行う**
  接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。

**電池に関すること＜リモコン＞**

- **電池の ⊕ 、⊖ を正しく入れる**
  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

**漏電・火災の防止**

- **電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う**
  漏電・火災の原因になります。

## ⚠注意

### 禁止

**全般**

- **便器に固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当てたりしない**
  変形・破損によるけがの原因になります。

- **設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、ななめ、裏返しにしない**
  洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。

# ⚠注意

## 禁止

### 水漏れ防止

**●給水ホースや排水管などに力を加えない**
水漏れの原因になります。

**●止水栓を開いたままストレーナを外さない**
水が噴き出し拡大損害になります。

**●給水ホースに手をかけない**
水漏れの原因になります。

### 壁排水タイプ（水漏れ防止）

**●排水ジョイントを逆こう配にしない**
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

**●排水ジョイントを無理に曲げない**
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。

## 必ず守る

### 水漏れ防止

**●給排水接続は必ず正しい方法で施工する**
破損・水漏れの原因になります。

**●水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う**
破損・水漏れの原因になります。

**●排水管は奥まで十分に差し込み、接続する**
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

**●止水栓にがたつきのないことを確認する**
水漏れの原因になります。

**●床面は、水平に施工する**
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

**●給排水の接続には必ず指定のパッキンを使用する**
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

**●床排水タイプ本体のフレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける**
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。
便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

**●型紙を使って必ず専用の床固定ねじで施工をする**
水漏れの原因となります。

**●ストレーナをしっかりと締め付ける**
破損・水漏れの原因になります。

**●止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く**
商品の破損や水漏れの原因になります。

## 必ず守る

### 水漏れ防止

**●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する**
水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

**●床からの浮きがないようにしっかりと固定する**
便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

**●既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く**
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

**●2階以上のトイレルームに設置する場合は、必ず排水管まわりにシーリングを行う**
シーリングをしないと階下への水漏れのおそれがあります。

**●施工後に必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する**
水漏れによる拡大損害の原因になります。

### 壁排水タイプ（水漏れ防止）

**●便器に接続する排水管は、必ず1/50以上の十分な排水こう配をとる**
水漏れの原因になります。

## 禁止

### 洗剤・薬品に関すること

**●便器のお手入れには下記洗剤を使用しない**

製品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
（取扱説明書43ページ参照）

【使用してはいけない洗剤】

- ●酸性洗剤　●アルカリ性洗剤 *1
- ●重曹、アルコールを含む洗剤 *2
- ●トイレ掃除用ペーパー*3
- ●オレンジオイルを含む洗剤
- ●柑橘系の香りを有する洗剤
- ●消臭剤　●滴下するタイプの消臭液
- ●苛性ソーダや強塩酸などの薬品
- ●シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1… 湿布法（取扱説明書46ページ参照）でお手入れを行う場合は使用可能です。

*2… エタノール、イソプロピルアルコールなど

*3… 花王製トイレクイックルは使用可能です。（当社試験により確認済み）

# ⚠注意

禁止

標準タイプ
床排水タイプ（床フランジ）

**●床フランジを無理な力で固定しない
また、割れたまま使用しない**

水漏れの原因になります。

必ず守る

**●リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、
また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、
奥まで十分接着する**

床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

**●床フランジが床からの浮きや、がたつきがないようにしっかりと4か所を締め付ける**

締め付けが悪いと便器がぐらついたり、
水漏れのおそれがあります。

禁止

リフォームタイプ
床排水タイプ（排水アジャスタ）

**●Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない**

排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

必ず守る

リフォームタイプ
床排水タイプ（排水アジャスタ）

**●既設床フランジにしっかり固定する**

水漏れの原因になります。

**●排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット（2か所）をしっかりと締め付ける**

水漏れの原因となります。

**●排水アジャスタの接着は接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込んで接着する**

施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

**●床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く**

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

**●がたつきがないことを確認する**

水漏れの原因になります。

必ず守る

凍結防止

**●設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする**

破損・水漏れの原因になります。

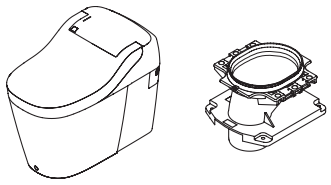
**●寒冷地以外の地域でも、屋外配管・露出配管については、凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する**

冬場周囲温度が0 ℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れする原因になります。

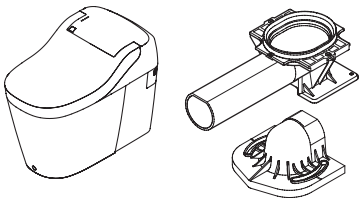
# 施工チャートともくじ　床排水タイプ



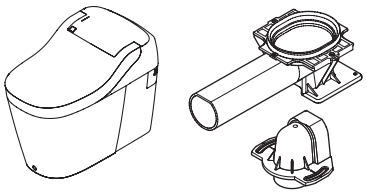
**標準タイプ**
15〜19 ページ



**リフォームタイプ**
20〜24 ページ



**リフォームダイレクトタイプ**
25〜29 ページ



**標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ　共通の確認・取付手順**


給水位置の確認……14
止水栓の取り付け……14

床工事……15
既設便器の取り外し……20
既設便器の取り外し……25


**手洗いの取り付け**（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）　オプション

**標準タイプ**


床フランジとリングの取り付け…16
床フランジの取り付け……17
サイドカバーの取り外し……18
便器の取り付け……18


**リフォームタイプ**


床アジャスタの切断……20
排水アジャスタの組み立て…22
排水アジャスタの取り付け…23
サイドカバーの取り外し……24
便器の取り付け……24


**リフォームダイレクトタイプ**


床アジャスタの切断……25
排水アジャスタの組み立て…27
排水アジャスタの取り付け…27
サイドカバーの取り外し……29
便器の取り付け……29


**標準タイプ／リフォームタイプ／リフォームダイレクトタイプ　共通の施工手順**


止水栓への接続……41
リモコンの準備……42
本体への給水と通電……43
洗剤タンクの取り付け……44
便器洗浄と水漏れの確認……45
便器洗浄水量の調節……45
試運転……46
ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除……49
水抜き方法……50
シーリング方法(CH1602＊Gのみ)……51
サイドカバーの取り付け……51
リモコンのアドレス変更……52
施工後の確認……54

# 施工チャートともくじ　壁排水タイプ



## ●後ろ抜きの場合

**120 タイプ／ 155 タイプ　共通の確認・取付手順**


給水位置の確認 ……14
止水栓の取り付け ……14


### 120タイプの場合


配管工事 ……30
床工事 ……30


### 155タイプの場合

**台輪の施工説明書** オプション
2ページ 1 給水位置の確認


配管工事 ……30
床工事 ……30


**手洗いの取り付け** オプション
（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照）


排水管と本体の接続 ……31
便器の取り付け ……40


**台輪の施工説明書** オプション
2ページ 2 型紙の組み立て
〜
5ページ 7 便器の取り付け

**120 タイプ／ 155 タイプ　共通の施工手順**


止水栓への接続 ……41
リモコンの準備 ……42
本体への給水と通電 ……43
洗剤タンクの取り付け ……44
便器洗浄と水漏れの確認 ……45
便器洗浄水量の調節 ……45
試運転 ……46
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除 ……49
水抜き方法 ……50
シーリング方法（CH1602＊Gのみ） ……51
サイドカバーの取り付け ……51
リモコンのアドレス変更 ……52
施工後の確認 ……54

## ●排水ジョイント接続の場合

給水位置の確認……14
止水栓の取り付け……14
既設便器の取り外し……33
床工事……33

| 排水管の中心から床まで　100～120mm | | 排水管の中心から床まで 135～155mm |
|---|---|---|
| 排水ジョイントS<br>排水管と本体の接続 …34 1 ～ 35 4 まで | 排水ジョイントL<br>排水管と本体の接続 …37 1 ～ 38 4 まで | |
| 手洗いの取り付け オプション<br>（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照） | 手洗いの取り付け オプション<br>（アラウーノ専用手洗い背面タイプ フロート型のみ施工可能） | 手洗いの取り付け オプション<br>（手洗いに同梱のアラウーノ専用手洗ユニット施工説明書を参照） |
| 排水ジョイントS<br>排水管と本体の接続…36 5 6 | 排水ジョイントL<br>排水管と本体の接続…39 5 6 | 台輪の施工説明書 オプション<br>6～12ページ |

便器の取り付け……40

全タイプ　共通の施工手順

止水栓への接続……41
リモコンの準備……42
本体への給水と通電……43
洗剤タンクの取り付け……44
便器洗浄と水漏れの確認……45
便器洗浄水量の調節……45
試運転……46
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除……49
水抜き方法……50
シーリング方法（CH1602＊Gのみ）……51
サイドカバーの取り付け……51
リモコンのアドレス変更……52
施工後の確認……54

# 取り付け前に



### 〈公的機関の確認事項〉

1. 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
2. アラウーノ便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

### 〈電気関連の注意事項〉

1. 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
2. AC100V埋め込みアースターミナル付コンセントが必要です。以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

| 仕様 | | 必要なコンセントの数 |
|---|---|---|
| 便器のみ設置 | 寒冷地仕様 | 2個(アース付) |
| 「アラウーノ専用手洗ユニット」と併設 | 自動水栓 | 2個(アース付) |
| | 自動水栓+寒冷地仕様 | 3個(アース付) |

3. 製品のコード長さは1.0 mです。電源コンセントはこれに適した位置へ設置してください。

### 〈水関連の注意事項〉

1. 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
2. 使用水道圧範囲は0.05 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。アラウーノ専用手洗ユニットを併設する場合の使用水道圧範囲は0.1 MPa(流動時)～0.75 MPa(静止時)です。洗面所や浴室などで同時に水栓金具を使用した場合、使用水道圧(流動時動水圧)が低下します。使用水道圧(流動時動水圧)を測定する場合は、必ず同時使用状態で最低使用水道圧(流動時動水圧)が確保されているかをご確認ください。
3. 上水道でのみご使用ください。井戸水(地下水)を使用された場合、商品の故障の原因となります。
4. 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。弊社営業所、または販売店にご相談ください。
5. 向かって右に給水位置がある場合、オプションの延長給水ホースが必要となります。

| 長さ | 品番 |
|---|---|
| 1 m | CH100R01 |

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

### 〈床工事関連の注意事項〉

1. 2階以上に設置の場合には、トイレ床面の防水工事をおすすめします。
2. 床仕上げは必ず水平にしてください。床面が水平でない場合は、便器がぐらついたり水漏れするおそれがあります。
3. 便器を取り付ける床面の強度が十分(24 mm厚以上の合板)でない場合、24 mm厚以上の合板で床面を補強してください。

### 〈その他〉

1. 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
2. 次のような場合に動作に影響するおそれがあります。

   **【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】**
   直射日光をカーテンなどで遮断してください。

   **【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】**
   リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
   **製品の納入前に必ず現場をご確認ください。**

   **【同室で2台以上並べて設置される場合】**
   隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。もしくは、リモコンのアドレス変更をしてください。(52ページ参照)
3. タイル床仕様、CH1602*G以外は水洗い掃除ができる床には設置することができません。商品の故障の原因となります。
4. トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床に染みが発生することがあります。
5. 製品の使用温度範囲は0～40 ℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
6. 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
7. 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。
8. 2階以上に設置する場合、排水管内の圧力の影響を緩和するために、通気管を設けることをおすすめします。
9. 検査時の残水が凍結している場合がありますので、温めてから施工してください。
10. リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
11. 「アラウーノアプリ」のサービスのご利用には、スマートフォンと専用のアプリケーション、Wi-Fi環境が必要です。

# 改訂履歴

| 改訂年月 | NO. | 改訂ページ | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2021年 9月 | 1 | 表紙 | 施工手順動画の記載追加 |
| | | 3、43 | 警告表示の項目修正 |
| | | 19、24、29、40 | 前固定穴キャップ イラスト修正 |
| | | 32、34、37、51 | サイドカバー つめの記載修正 |
| | | 43、52、53 | リモコンLEDランプ イラスト修正 |
| | | | |
| | | | |

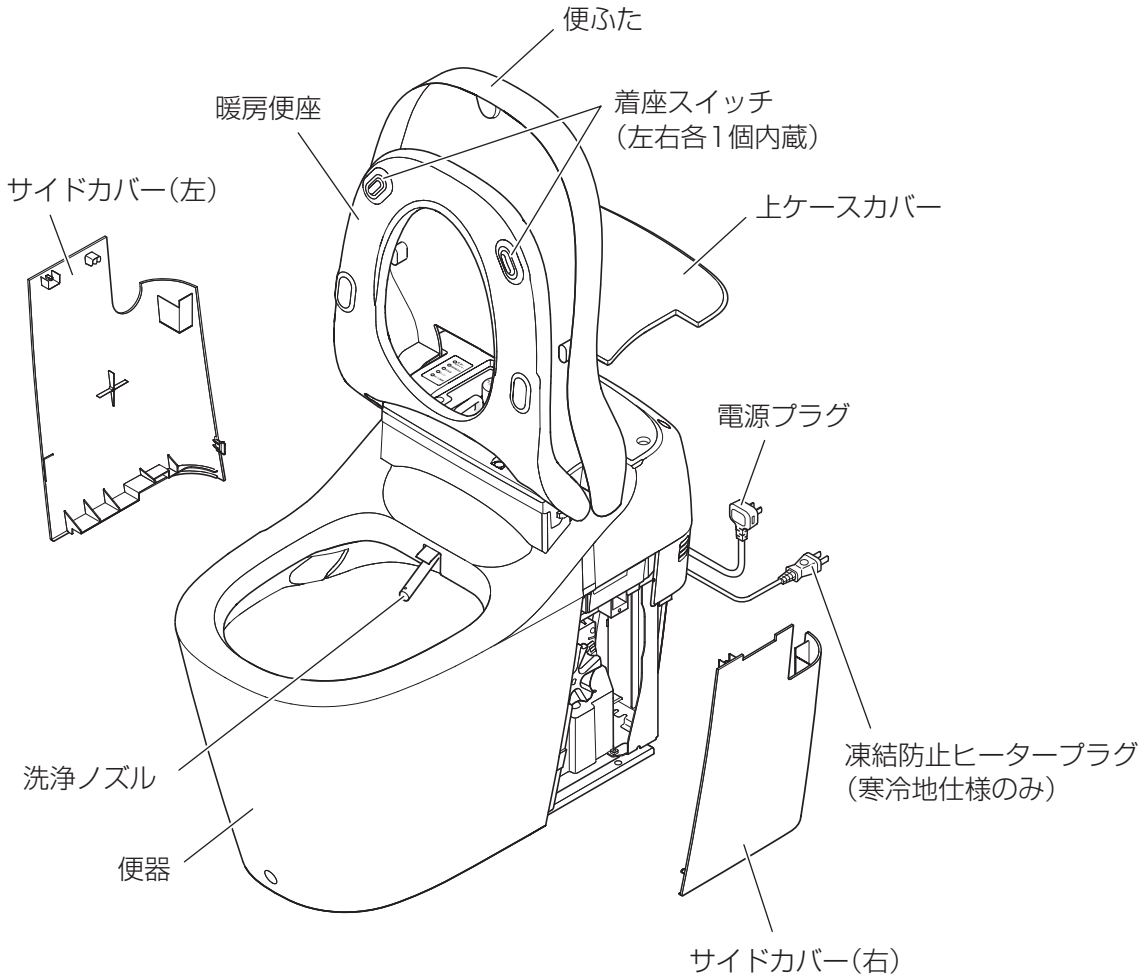
# 各部の名前と部品表

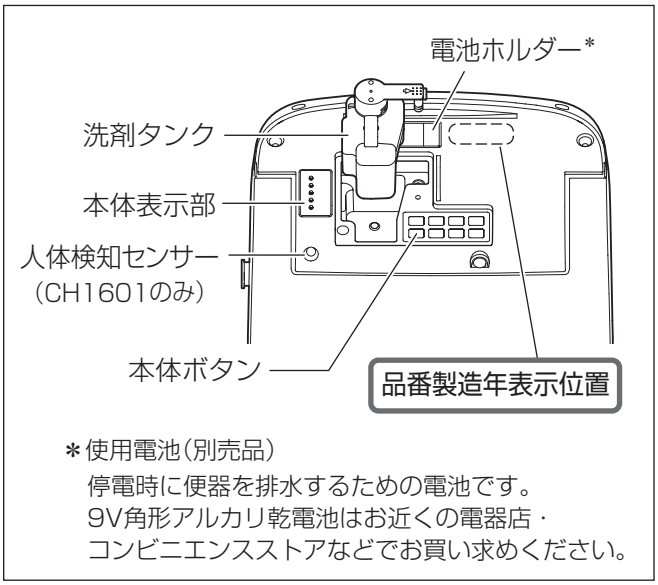
〔寸法単位：mm〕



●施工前に同梱部品を必ず確認してください。

便器本体　※イラストは床排水仕様で説明しています。

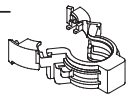
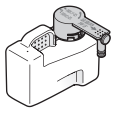


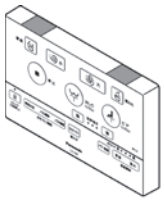
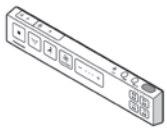

＊使用電池（別売品）
停電時に便器を排水するための電池です。
9V角形アルカリ乾電池はお近くの電器店・
コンビニエンスストアなどでお買い求めください。

洗剤

# 各部の名前と部品表

| 部品名 | 入り数 |
|---|---|
| 便器本体 | 1 |
| 洗剤 | 1 |
| 給水ホース（長さ350mm）パッキン(青) | 1 |
| クイックファスナー  | 1 |
| 洗剤タンク  | 1 |
| 説明書セット*3 取扱説明書 | 1 |
| 施工説明書（本書） | 1 |
| 保証書 *4 | 1 |
| 単3形乾電池（フラットリモコンの場合） | 3 |

| 部品名 | 入り数 |
|---|---|
| 壁排水タイプのみ同梱 接続パッキン | 1 |
| 型紙 | 1 |
| 固定片セット トラスタッピンねじ *1 φ5×35 | 2 |
| 固定片 | 1 |
| 便器取付ねじセット アプセットタッピンねじ φ6×45 | 2 |
| 平座金（6×16×1.0） | 2 |
| なべタッピンねじ φ5×60 | 1 |
| 前固定穴キャップ | 1 |
| 単4形乾電池（スティックリモコンの場合） | 3 |

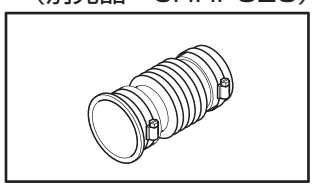
| 部品名 | 入り数 |
|---|---|
| リモコンねじセット 皿ねじ φ3.5×16 | 3 |
| 皿ねじ φ3.5×38  | 3 |
| アンカープラグ | 3 |
| イタズラ防止ねじ *2 M2×6  | 1 |
| リモコンセット リモコン・リモコンホルダー フラットリモコン（図はCH1601です）  スティックリモコン  | 各1 |

＊1…155タイプで台輪セットを使用する場合、この部品は使用しません。台輪セットに同梱のねじを使用してください。
＊2…このねじはCH1602＊Gのみ使用します。お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合のみ、精密ドライバーでねじを取り付けてください。（固定方法は43ページを参照してください。）
＊3…CH1602＊Gは、「リモコンの使い方ガイド」が同梱されています。
＊4…CH1602＊Gは、取扱説明書に保証書付き。

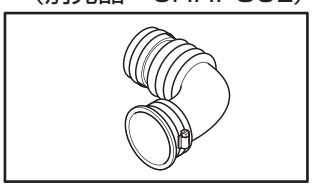
■止水栓セット（別売品：CH160FP）

| 部品名 | 入り数 |
|---|---|
| 止水栓本体 | 1 |
| 給水管 ※155タイプの床給水の場合は長さ90mm～130mmの給水管を別途手配してください。 | 1 |
| わん座 | 1 |

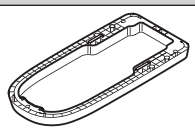
■排水ジョイントS（別売品：CHHP82S）



■排水ジョイントL（別売品：CHHP80L）



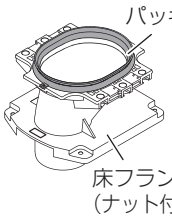
■台輪セット（別売品：CH160Z）

| 部品名 | 入り数 |
|---|---|
| 台輪  | 1 |
| 台輪ねじセット トラスタッピンねじ φ4.5×50 | 3 |
| トラスタッピンねじ φ5×70 | 2 |
| アプセットタッピンねじ φ6×80 | 2 |
| 平座金（6×16×1.0） | 2 |
| 施工説明書 | 1 |

## 配管セット（別売品）

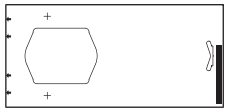
### 標準タイプ

**品番**
CH160F




VU75用リング
VP100用リング
VU100用リング

トラスタッピンねじ φ5×35 4
六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

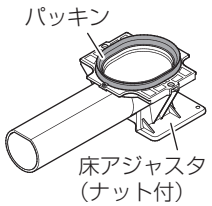


トラスタッピンねじ φ5×35 2

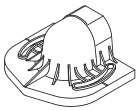
※VP／VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

### リフォームタイプ

**品番**
CH160FR

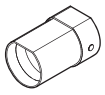



六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2



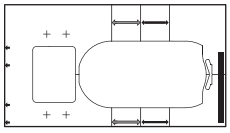

T形ボルト φ5×35 2
平座金 (8.5×22×1.5) 2
ナット M8 2

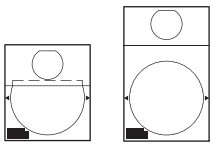
トラスタッピンねじ φ5×35 2

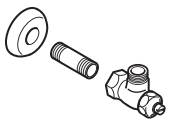



Pシール

※排水位置が411～470の場合はソケットが必要です



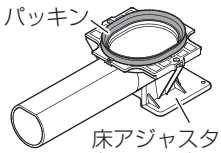



トラスタッピンねじ φ5×35 2

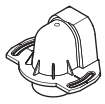
### リフォーム ダイレクトタイプ

**品番**
CH160FW




VU75用リング
VP100用リング
VU100用リング

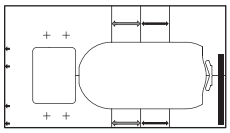
六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

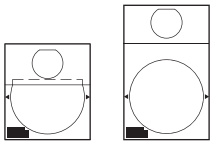


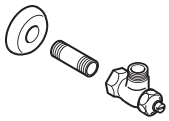

トラスタッピンねじ φ5×35 4
平座金 (5.5×12×0.8) 2

※排水位置が411～510の場合はソケットが必要です

※VP／VU100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています。



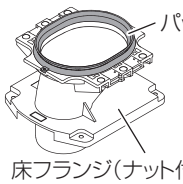



トラスタッピンねじ φ5×35 2

### マルチタイプ

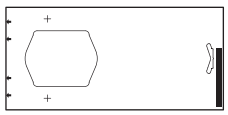
**品番**
CH160FM

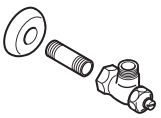
**床フランジセット**




VU75用リング
VP100用リング
VU100用リング

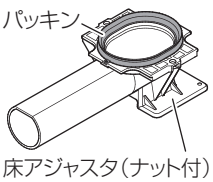
トラスタッピンねじ φ5×35 4
六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2



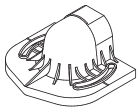




※VP／VU100用リングは、床フランジに仮固定されています。

**床アジャスタセット**




六角ボルト M8×30 2
平座金 (8.5×18×1.2) 2

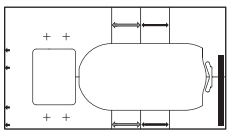


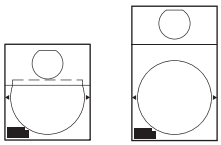

T形ボルト φ5×35 2
平座金 (8.5×22×1.5) 2
ナット M8 2

トラスタッピンねじ φ5×35 2

Pシール

※排水位置が411～470の場合はソケットが必要です



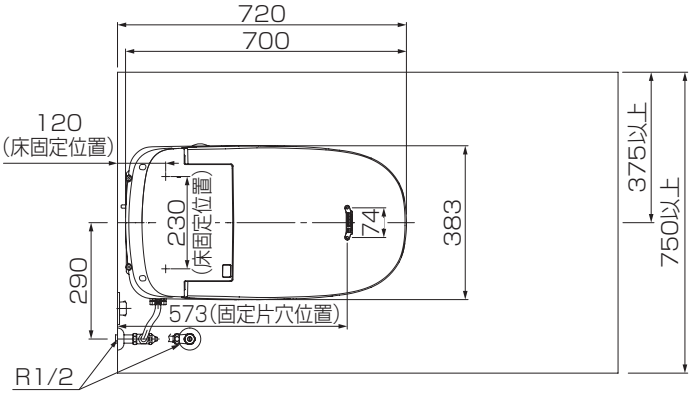
トラスタッピンねじ φ5×35 2

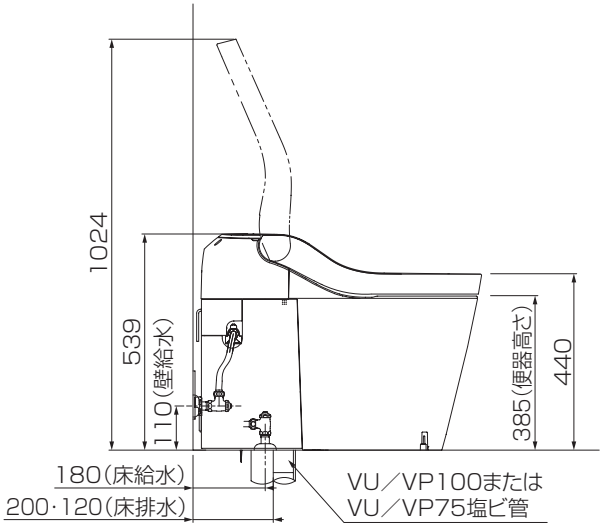
＊5…新築や、既設の床フランジの損傷が激しい場合は、別途アラウーノリフォーム用既設床フランジ（CH120FR01）を手配してください。

# 寸法図　床排水タイプ

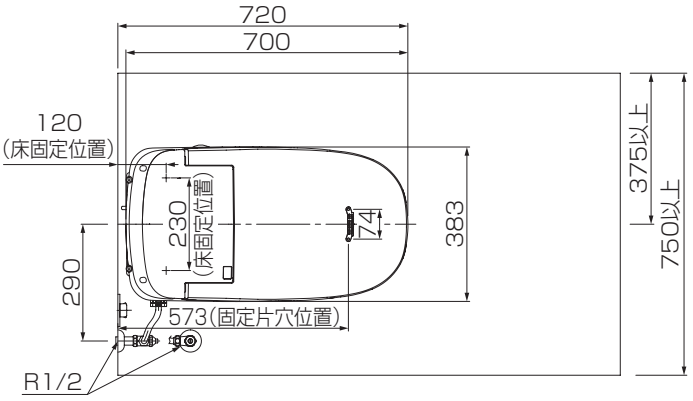
〔寸法単位：mm〕

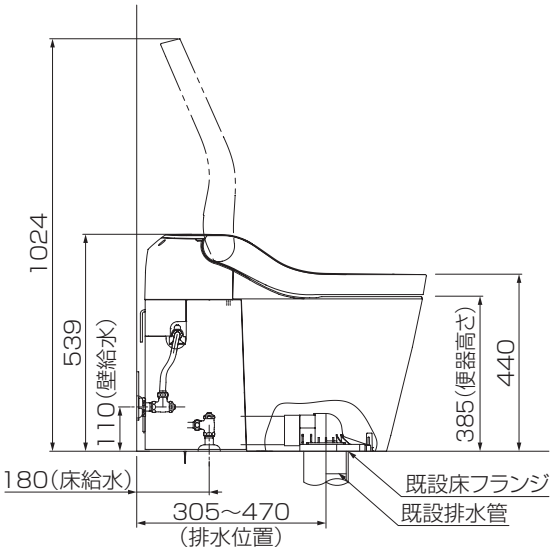
## 標準タイプ



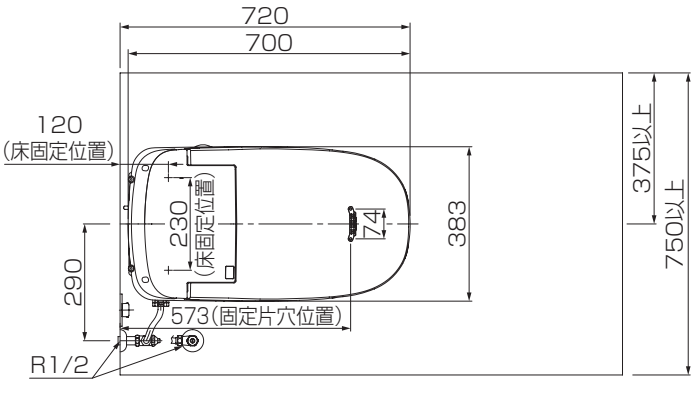



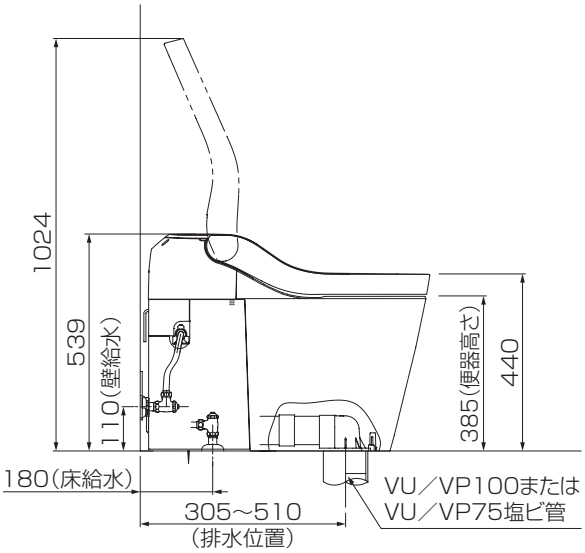

## リフォームタイプ




## リフォームダイレクトタイプ

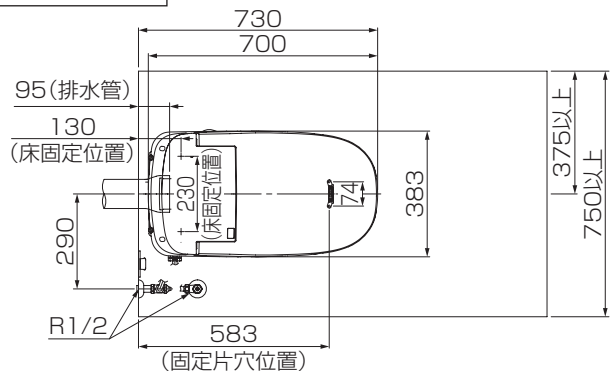


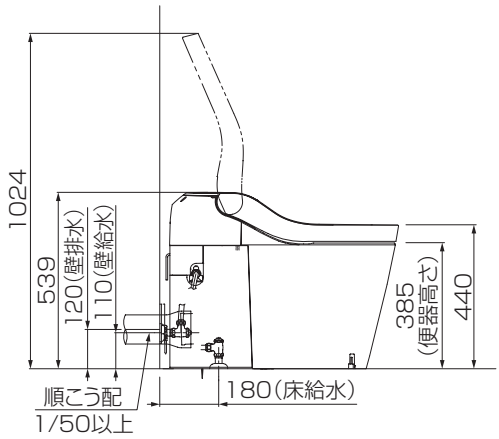



# 寸法図 壁排水タイプ

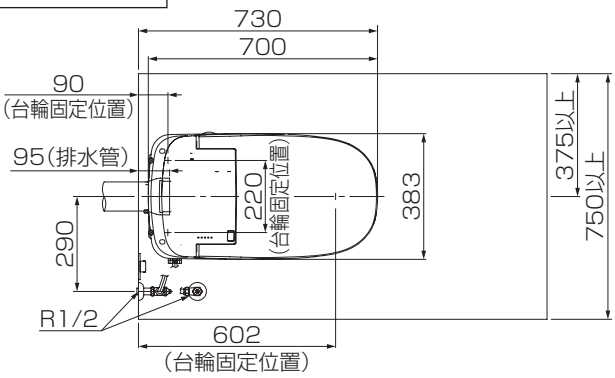
〔寸法単位：mm〕

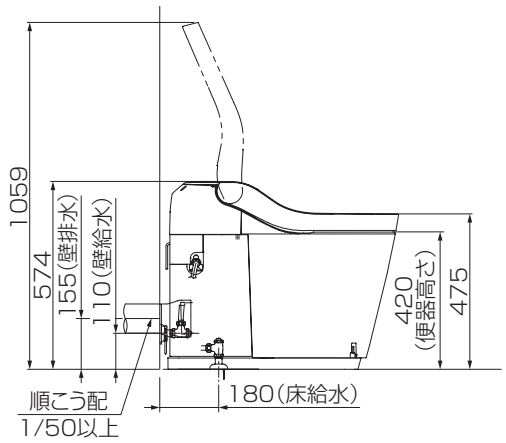
## 120タイプ



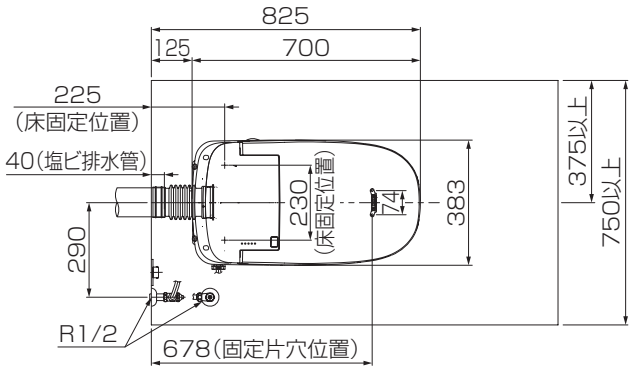



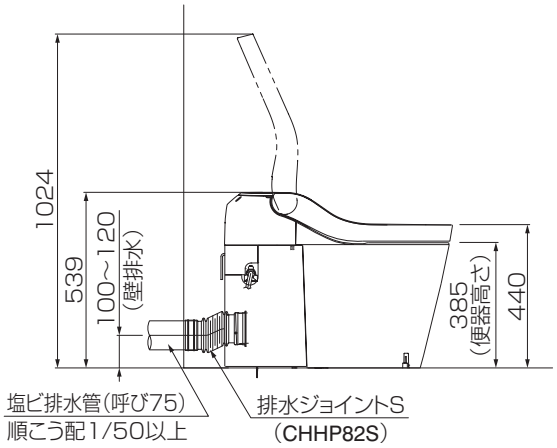

## 155タイプ



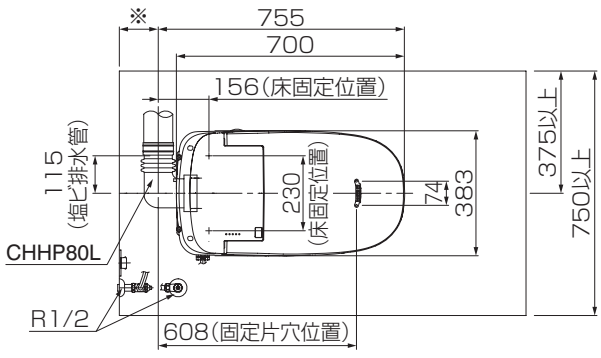




## 排水ジョイントS接続タイプ

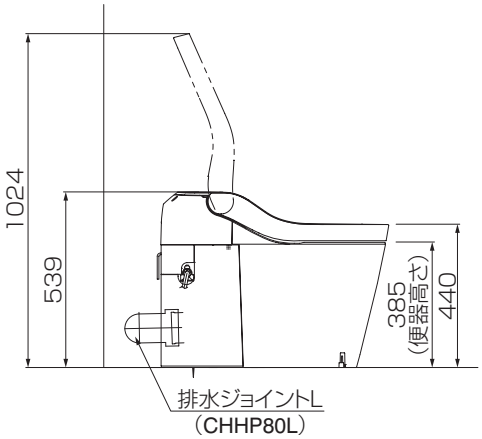



## 排水ジョイントL接続タイプ




※最低必要寸法60mm以上(推奨120mm)

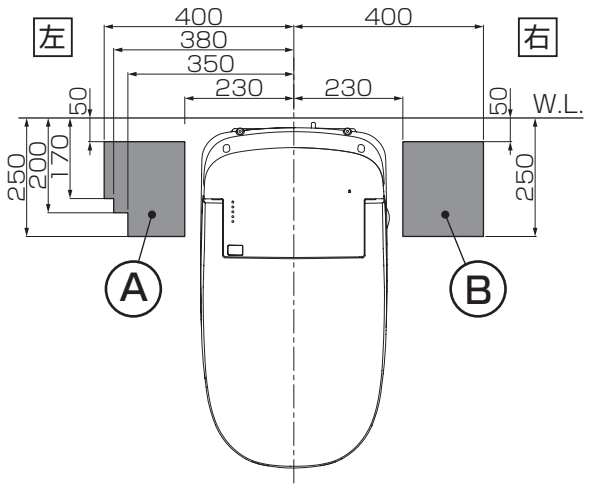


# 給水位置の確認と止水栓の取り付け 〔寸法単位：mm〕

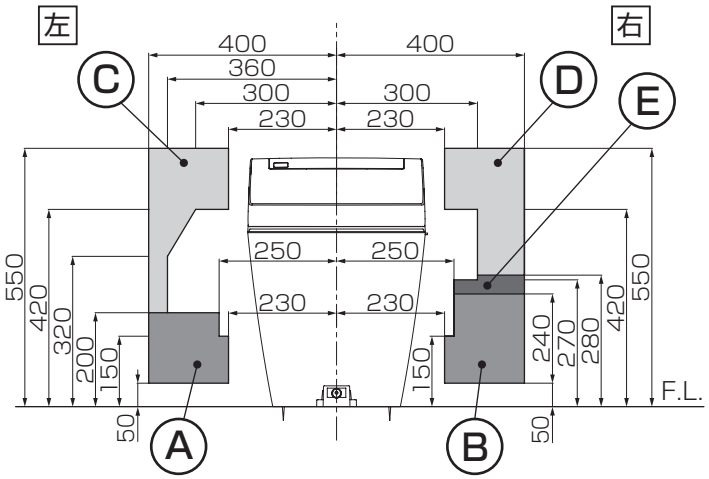
## 給水位置の確認

既設給水位置が下図の給水可能範囲内であることを確認する

●床給水の場合




●壁給水の場合




| 記号 | 説明 | 記号 | 説明 |
|---|---|---|---|
| Ⓐ | 付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能範囲 | Ⓓ | オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲<br>※「アラウーノ専用手洗い」の右設置は不可。 |
| Ⓑ | オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲 | Ⓔ | オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番:CH100R01）を使用した場合の給水接続可能範囲<br>※「アラウーノ専用手洗い連動水栓」の右設置は不可。<br>※「アラウーノ専用手洗い」R仕様は配管カバー（オプション）の取り付け不可。 |
| Ⓒ | 付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能範囲<br>※「アラウーノ専用手洗い」の左設置は不可。 | | |

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース（CH100R02）では長さが足りません。

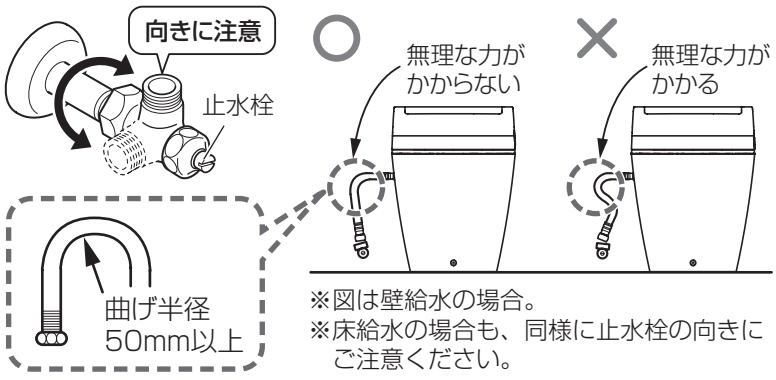
## 止水栓の取り付け

水道の元栓を閉め、同梱の止水栓を取り付ける

**⚠注意**

必ず守る

- **止水栓にがたつきがないことを確認する**
- **止水栓は必ず閉める**
  水漏れの原因になります。




※図は壁給水の場合。
※床給水の場合も、同様に止水栓の向きにご注意ください。

お願い

- **必ず同梱の止水栓を使用してください。**
  他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損なう原因になります。
- **止水栓の向きに注意し、給水ホースがねじれたり折れたりしないよう、注意して取り付けてください。**
  便器洗浄水量が不足する原因になります。
- **壁排水155タイプで床給水の場合は、長さ90mm～130mmの給水管を別途手配してください。**

標準タイプ ▶ 15ページへすすんでください。
リフォームタイプ ▶ 20ページへすすんでください。
リフォームダイレクトタイプ ▶ 25ページへすすんでください。
壁排水タイプ ▶ （後ろ抜きの場合）30ページ／（排水ジョイント接続の場合）33ページへすすんでください。

# 標準タイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

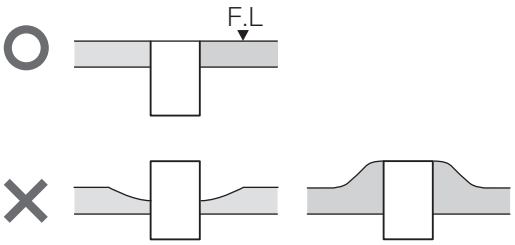


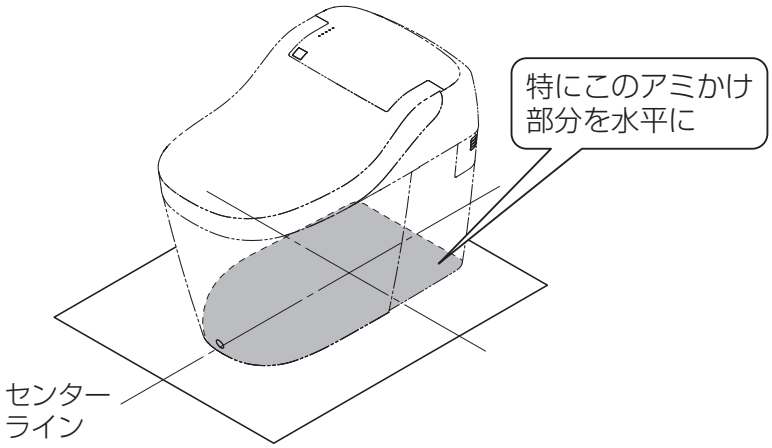
●標準タイプの場合に参照してください。リフォームタイプは20ページを参照してください。

## 床工事

床面を水平に仕上げる

お願い **排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。**
施工不良の原因になります。




### ⚠注意

必ず守る

**●床面は、水平に施工する**
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

**●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する**
水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

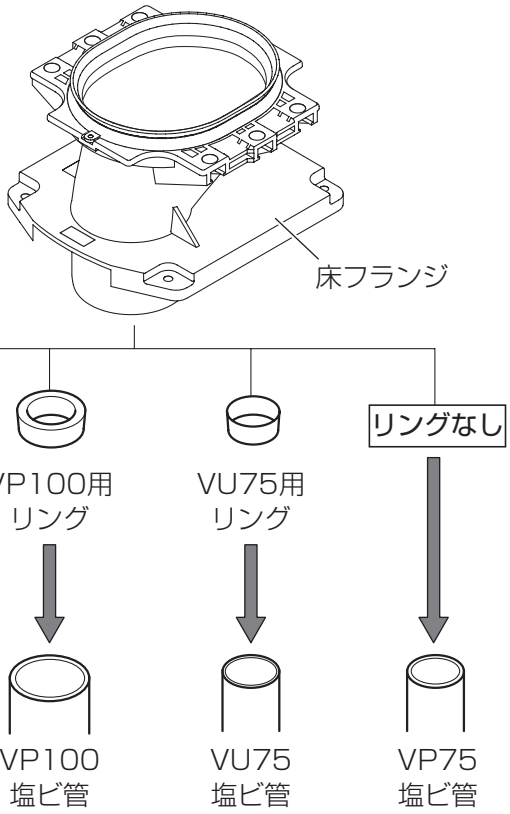
**手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください**(手洗いに同梱の施工説明書を参照) オプション

# 床フランジとリングの取り付け

**1** 排水管に適合するリングを選ぶ

（VU／VP100用リングは、床フランジに仮固定されています。）

※下図組み合わせにないリングは使用しません。

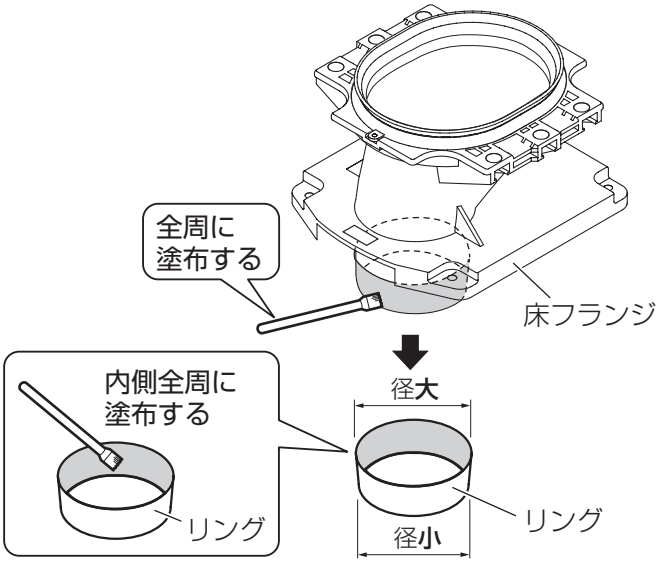



| | |
|---|---|
| VU75用リング | 80 |
| VP100用リング | 98 |
| VU100用リング | 105 |

**2** リング内側全周、および床フランジの差し込み部全周に塩ビ用接着剤を塗る（塩ビ用接着剤は別途手配ください。）

塩ビ用接着剤
（別途手配）

**3** リングの径の小さい方を下側にし、床フランジをリングに差し込み、接着する




## ⚠注意

**必ず守る**

**●リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全周に塗り、奥まで十分接着する**

床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

**●床フランジ内にリングを同梱しているため、必ず床フランジからリングを取り除いて設置する**

床フランジ内にリングが残ったまま設置すると、排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

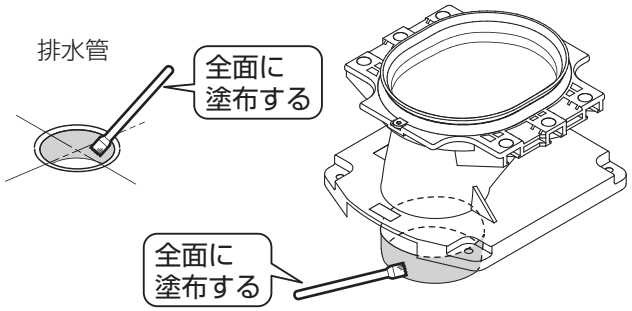
# 床フランジの取り付け

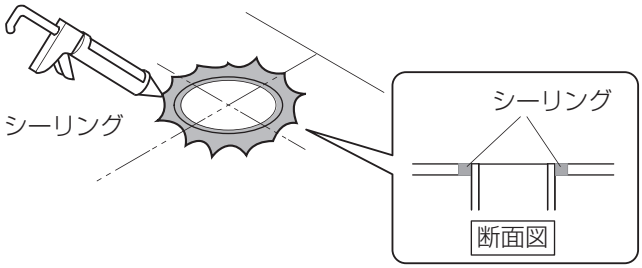
ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

**1** 排水管を床面と面一になるように切断する

**2** 排水管・床フランジに塩ビ用接着剤を塗布する

**3** 2階以上のトイレルームの場合は、排水管のまわりをシーリング防水する




**⚠注意**

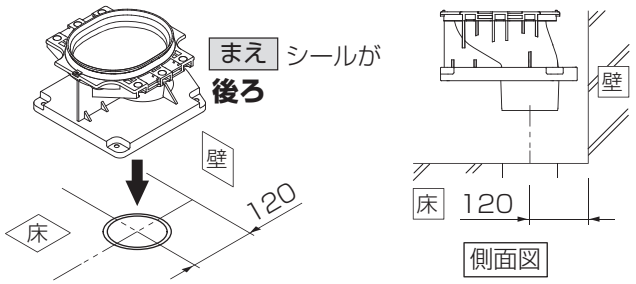
必ず守る

- **●2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず排水管まわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **●排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する**
  排水詰まりの原因になります。

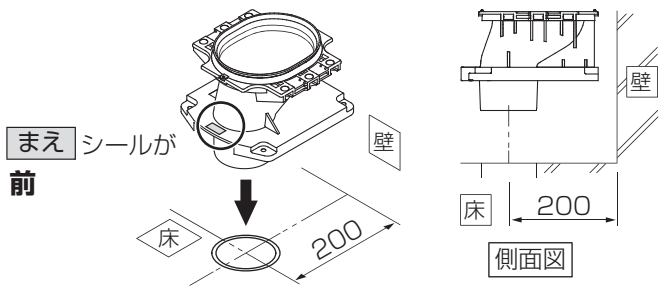
**4** 床フランジをセンターラインに合わせて、床面にあたるまで差し込み、排水管と接着する

### ■床フランジの取り付け向きについて

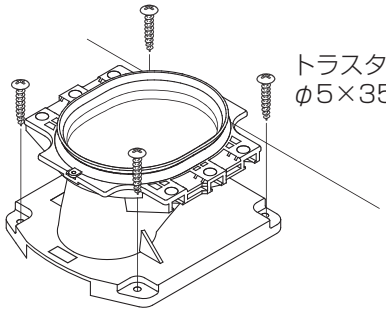
**排水芯120の場合**




**排水芯200の場合**




**5** ねじで床フランジを固定する




**⚠注意**

禁止

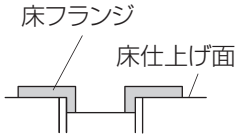
- **床フランジを無理な力で固定しない また、割れたまま使用しない**
  水漏れの原因になります。

必ず守る

- **床フランジが床からの浮きや、がたがないようにしっかりと4か所を締め付ける**
  便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。

お願い

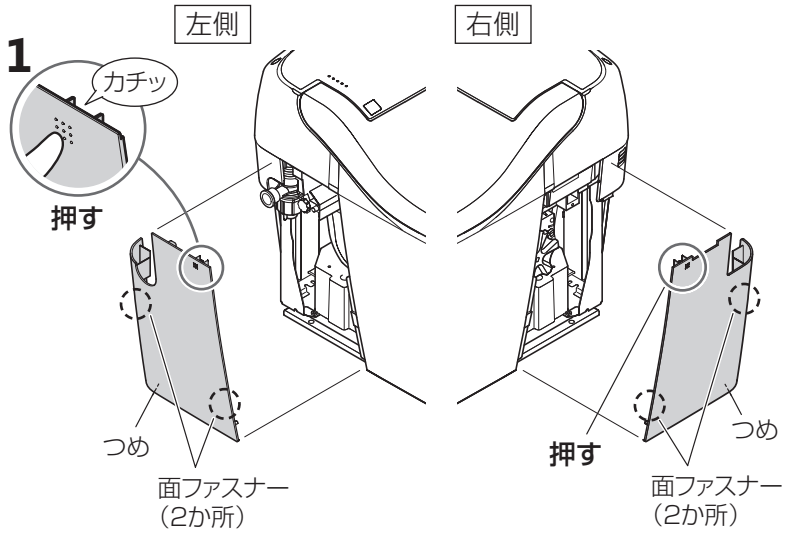
**床フランジは、フランジ部が必ず床仕上げ面の上に乗るようにしてください。**



# サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）




# 便器の取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

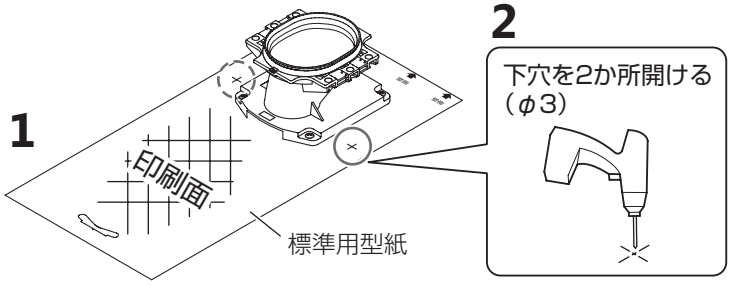
**1** 標準用型紙を床フランジの形状に合わせて置く

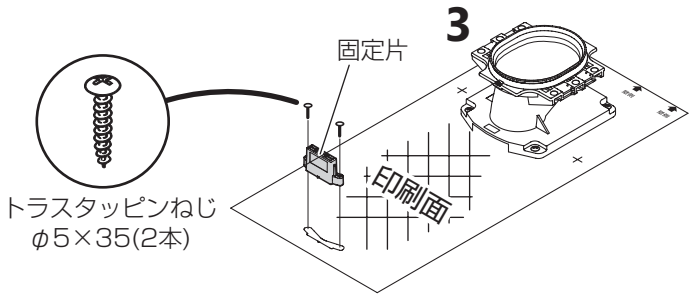
**2** 床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける

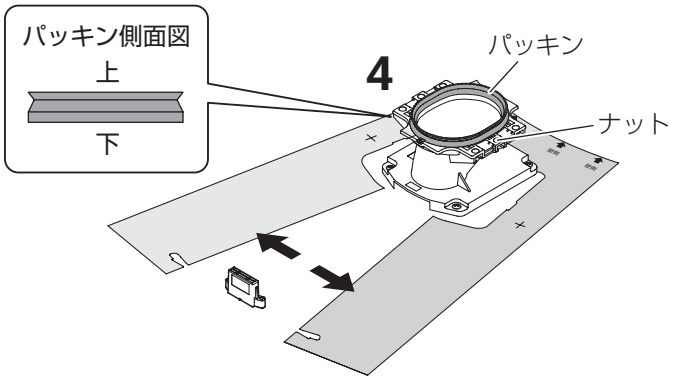
**3** 固定片を標準用型紙の切り欠き部にはめ、ねじで固定する

**4** 標準用型紙を破って取り外す

**5** 床フランジの上部にパッキンおよびナットがきちんと取り付けられているか確認する



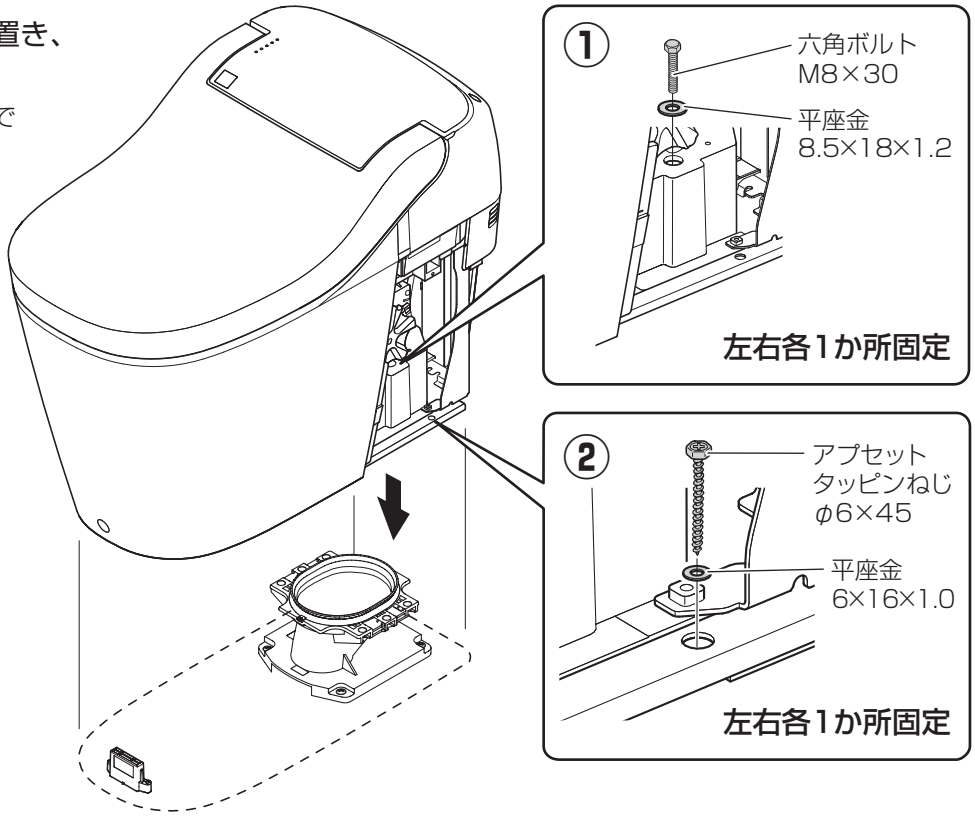

**⚠注意**

| | |
|---|---|
| 必ず守る | **パッキンの上下の向きを確認する**<br>水漏れの原因となります。 |

**6** 床フランジの上から便器を置き、①、②の順で固定する

（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）

※便器を床フランジの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。




## ⚠警告

禁止

**便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**

火災や感電の原因になります。

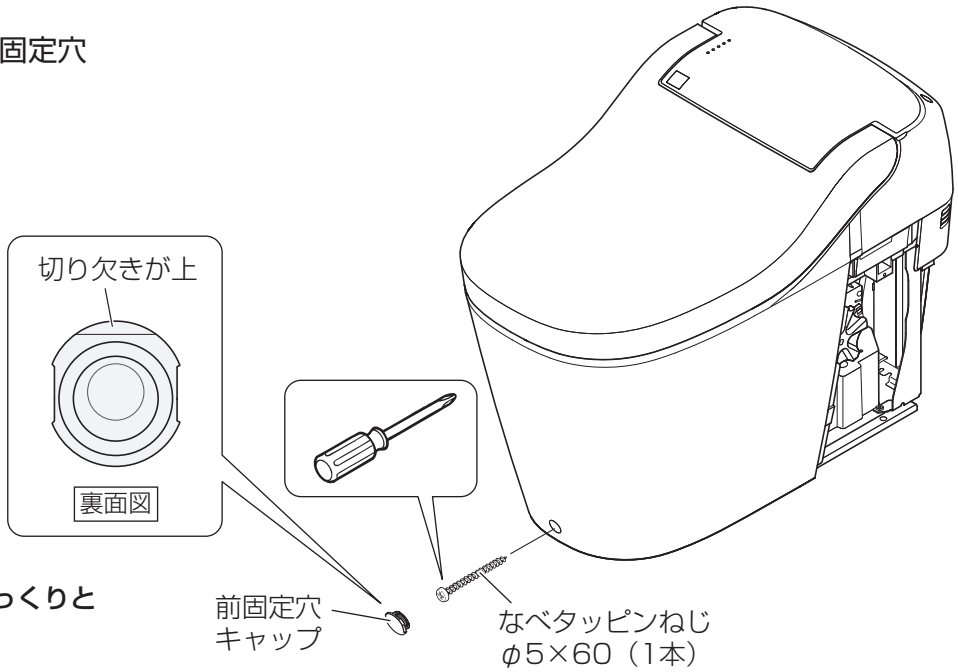
## ⚠注意

必ず守る

**便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける**

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

**7** 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける




お願い

**ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。**

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

# リフォームタイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

**はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。**

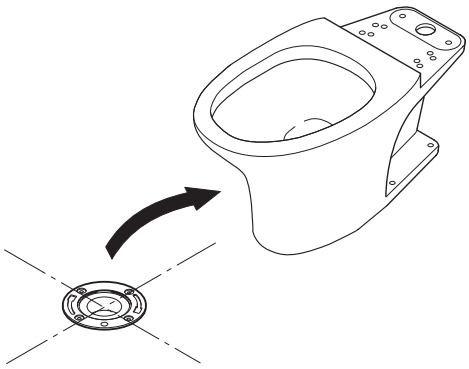


## 既設便器の取り外し

**1** 既設の便器を取り外す

**2** 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く

**3** 排水管の中心線を床にけがく



**お願い** **下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ(CH120FR01)を別途用意し、配管セット(CH160FRもしくはCH160FM)に同梱しているPシールを使用してください。**(22ページ「排水アジャスタの組み立て」参照)

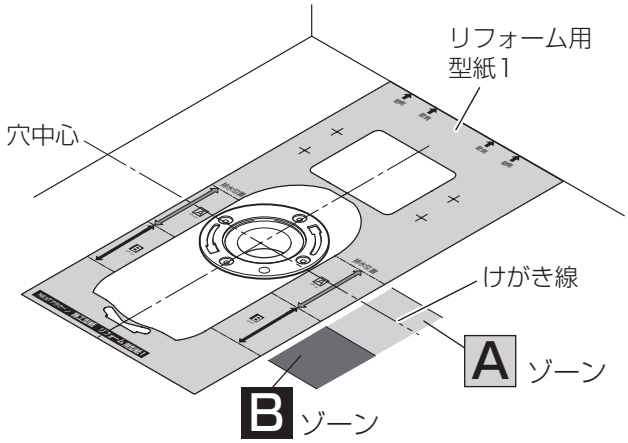
①既設の便器が床フランジを用いない タイプの場合
②既設の便器がPシールを用いないタイプの場合
③床フランジの損傷が激しい場合

**手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください**(手洗いに同梱の施工説明書を参照) **オプション**

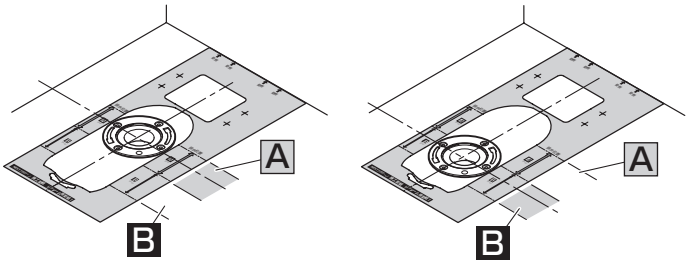
## 床アジャスタの切断

※排水芯470mmの場合も、床アジャスタの切断が必要です。

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する




**お願い** **A 、B ゾーンのどちらに該当するか必ず確認してください。**

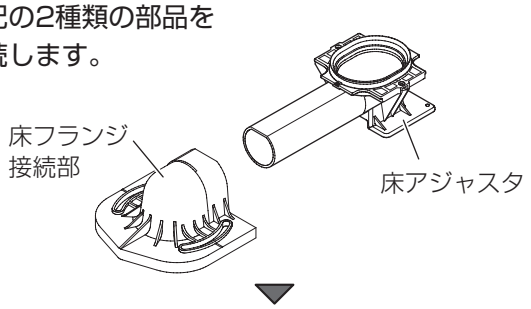



- 排水芯が470mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

**排水芯位置によって施工方法が異なります**

### けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

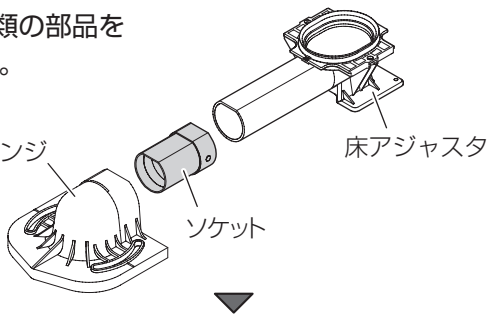
下記の2種類の部品を
接続します。




次ページの A を参照し、施工してください。

### けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

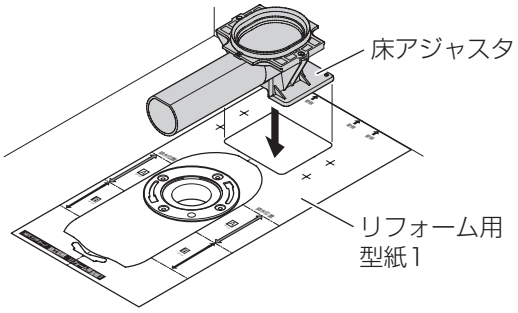
下記の3種類の部品を
接続します。




次ページの B を参照し、施工してください。

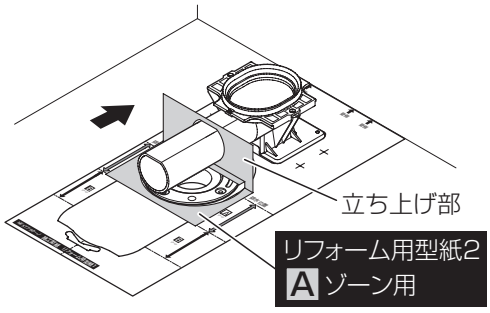
## けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

**1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

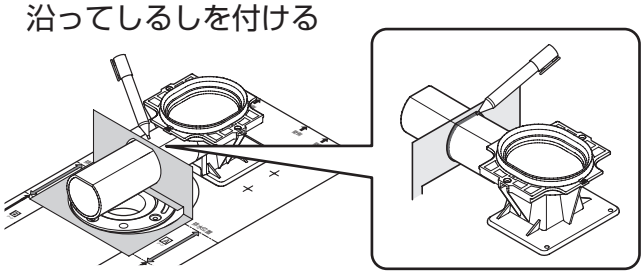



**2** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

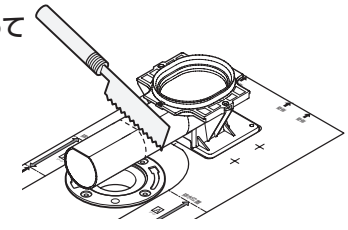
**3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する




**4** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



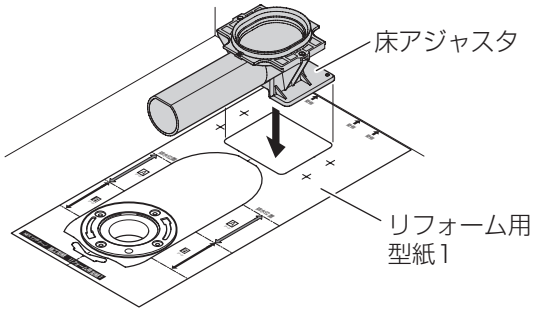
**5** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する




※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

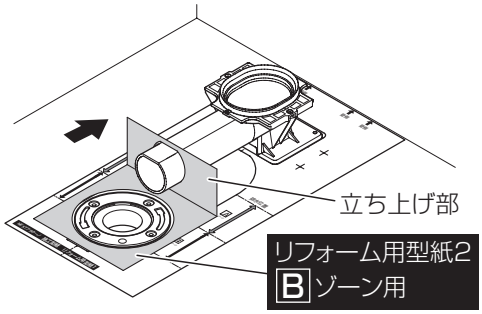
## けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

**1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

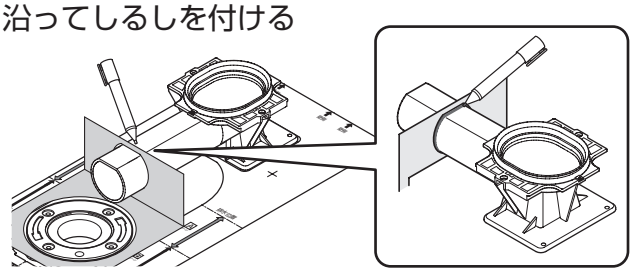



**2** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

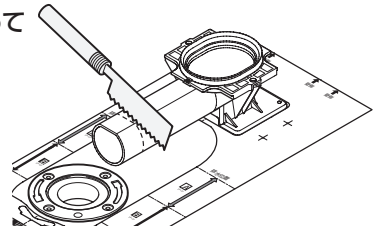
**3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、既設の床フランジに合わせて設置する




**4** リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



**5** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する




※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

## ⚠注意

必ず守る

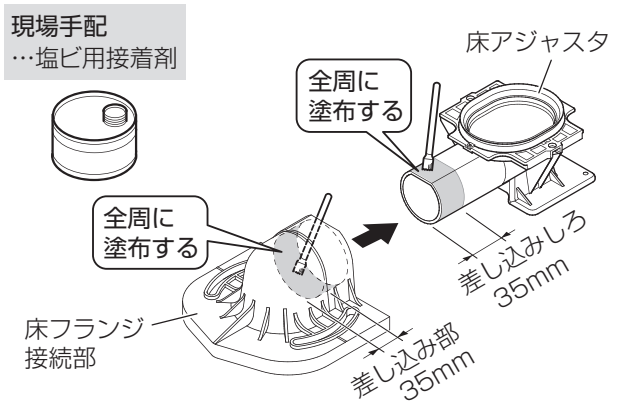
**床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く**

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

# 排水アジャスタの組み立て

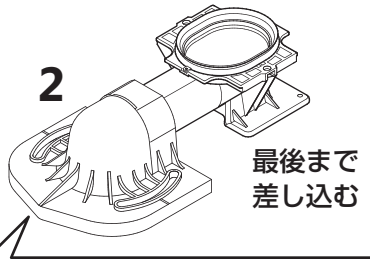
## けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

**1** 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する




**2** 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

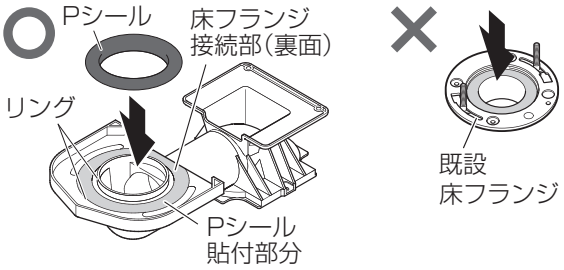
**3** Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする




**3**

Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。

貼り付けが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。

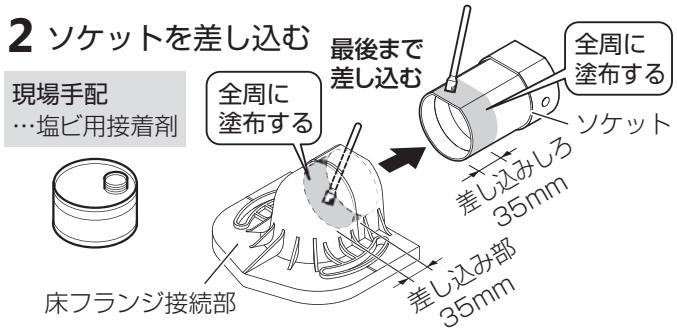



排水アジャスタ側に付ける　　床フランジ側に付けない

## けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

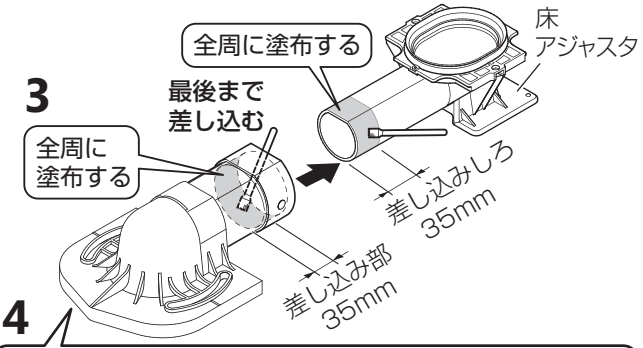
**1** 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗る

**2** ソケットを差し込む




**3** ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる

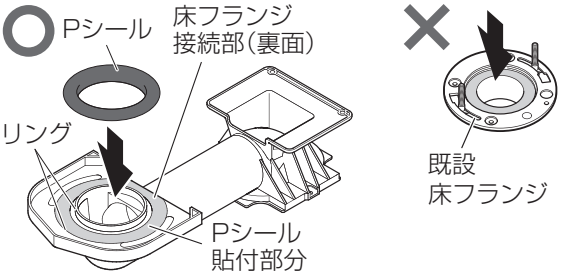
**4** Pシールを床フランジ接続部裏側にセットする




**4**

Pシールは、必ず2本のリング線の間に貼り付ける。

貼り付けが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み洗浄不良の原因となります。




排水アジャスタ側に付ける　　床フランジ側に付けない

## ⚠注意

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | **Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない**<br>排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。 | 必ず守る | **●排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する**<br>施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。<br>**●Pシールは2本のリング線の間に収まるよう、押し広げながら貼り付ける**<br>シール不良による水漏れの原因になります。また、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良になります。 |

# 排水アジャスタの取り付け

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

**1** リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3の下穴を2か所開ける

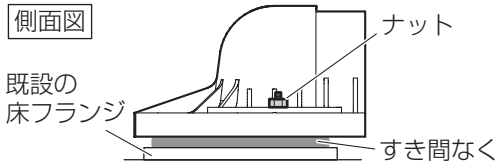
**2** 既設の床フランジにT形ボルトを取り付ける

**3** リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて排水アジャスタを設置し、ねじで固定する

**4** 床フランジ接続部の上からナットで締め付ける

床フランジ接続部が床から浮かないように、上からナットですき間がなくなるまで締め付けてください。

側面図

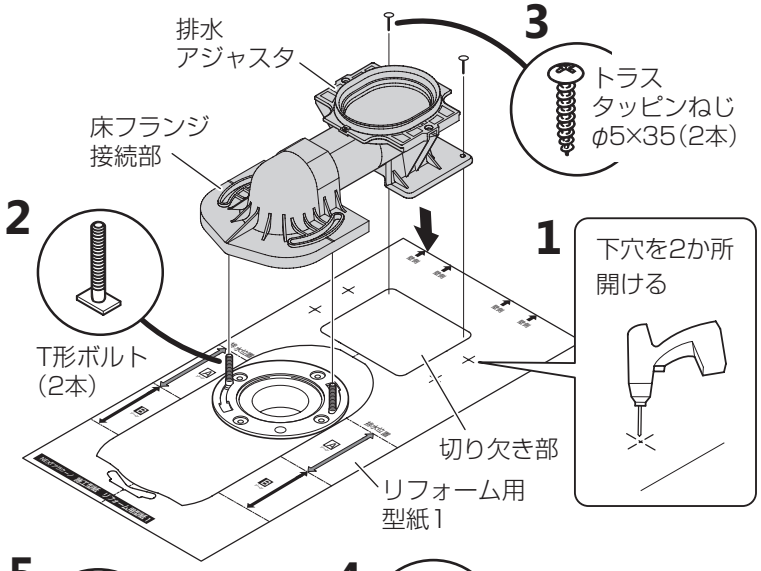


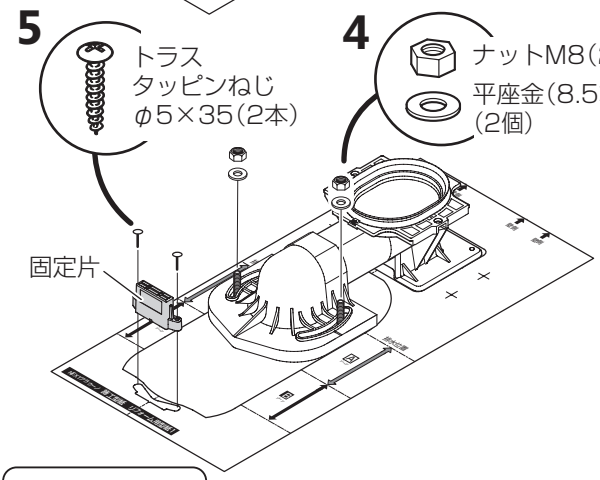

**5** 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで固定する

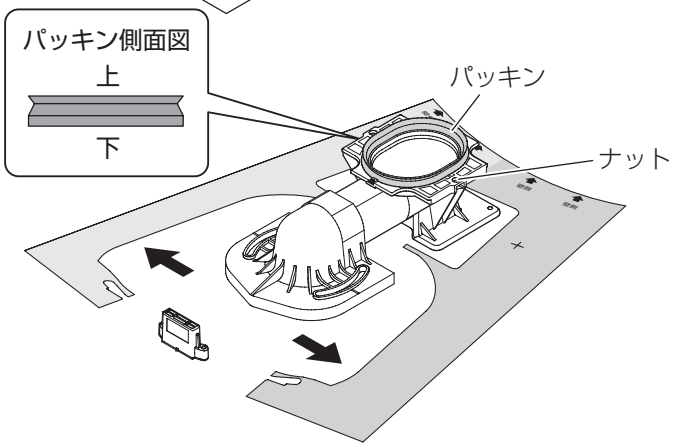
**6** 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

**7** リフォーム用型紙1を破って取り外す



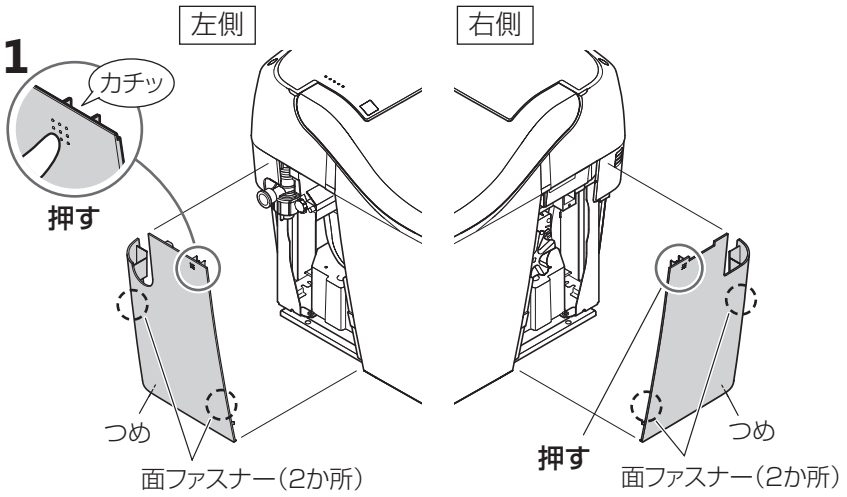

## ⚠注意

| | | | |
|---|---|---|---|
| 必ず守る | **排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジ接続部のナット(2か所)をしっかりと締め付ける**<br>水漏れの原因となります。 | 必ず守る | **パッキンの上下の向きを確認する**<br>水漏れの原因となります。 |

# サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

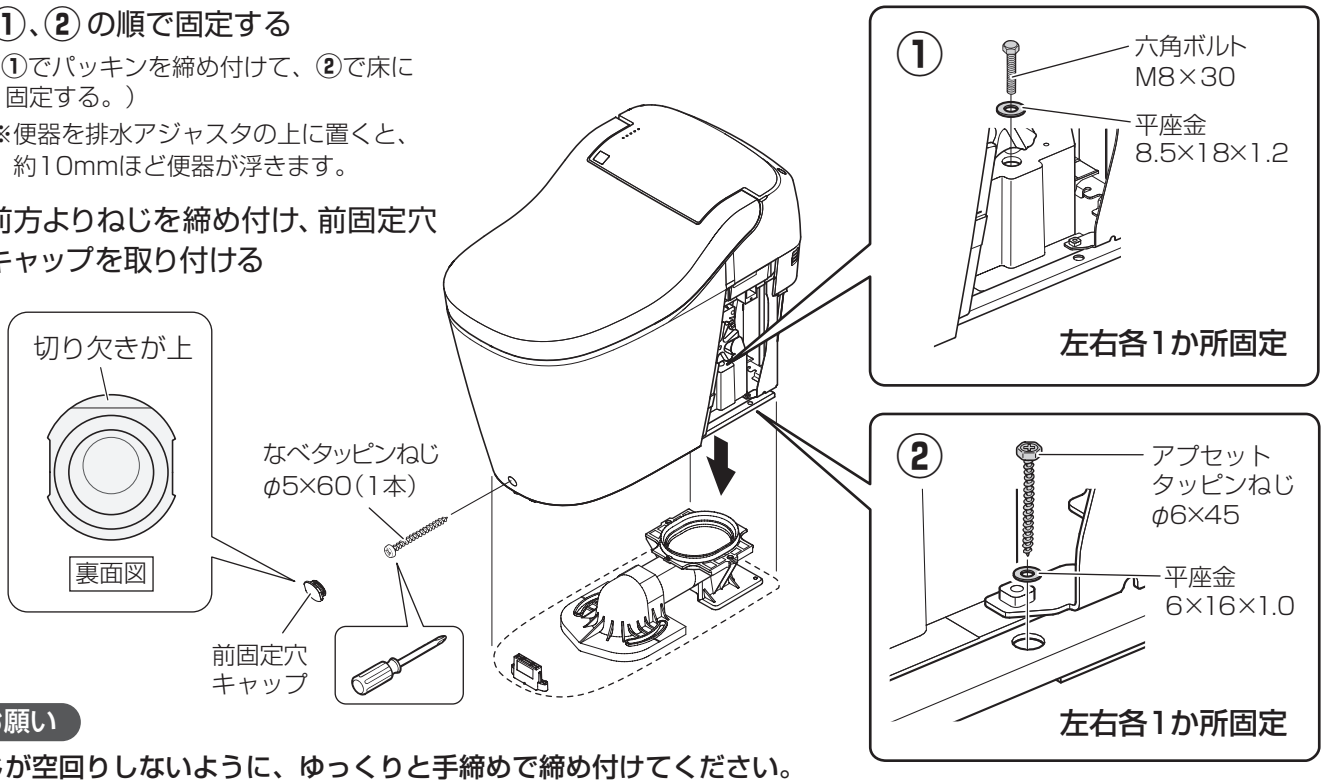
**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）




# 便器の取り付け

**1** 排水アジャスタの上から便器を置き、①、② の順で固定する
（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）
※便器を排水アジャスタの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。

**2** 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける




お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

## ⚠警告

禁止

**便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**

火災や感電の原因になります。

## ⚠注意

必ず守る

**便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける**

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

# リフォームダイレクトタイプの取り付け

〔寸法単位：mm〕

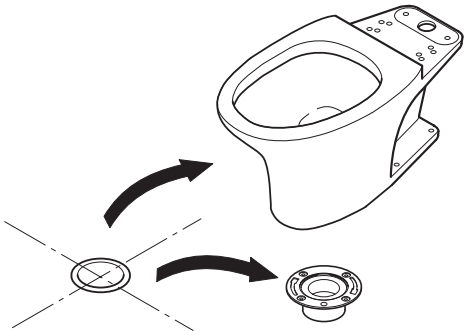
**はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。**

## 既設便器の取り外し

**1** 既設の便器を取り外す

**2** 既設床フランジをきれいに取り除く
**床面は水平に仕上げてください。**（15ページ「床工事」参照）

**3** 排水管の中心線を床にけがく



**⚠注意**

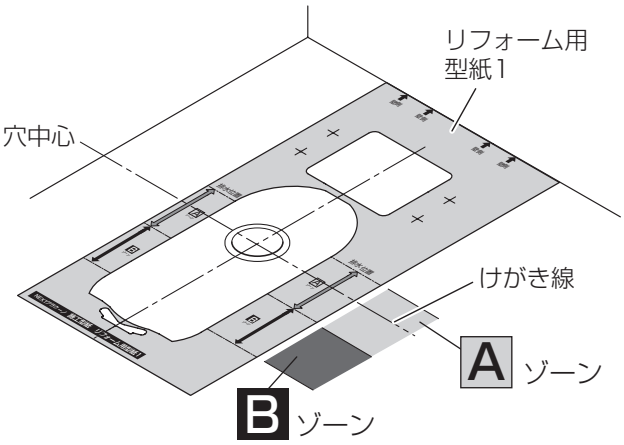
**必ず守る**

**排水管や既設の床フランジの破片を排水管内に落としていないかを確認する**
排水詰まりの原因になります。

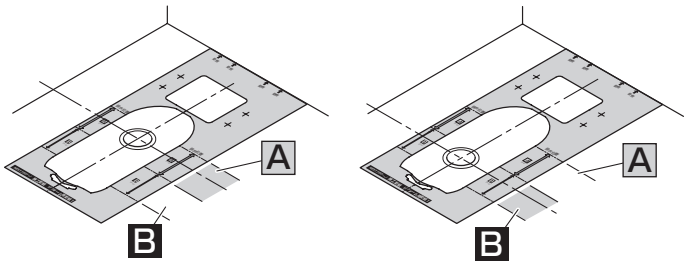
手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください（手洗いに同梱の施工説明書を参照） オプション

## 床アジャスタの切断

リフォーム用型紙1を壁にそわせて置き、
排水芯の位置を確認する




お願い A 、B ゾーンのどちらに該当するか
**必ず確認してください。**

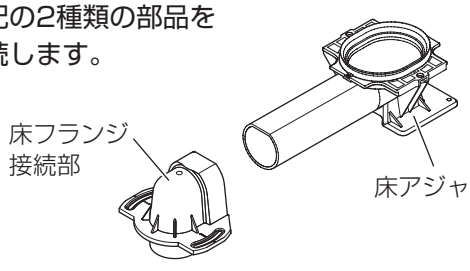



- 排水芯が510mmより大きい場合は、型紙の排水対応範囲に既設の排水位置が入るように型紙を置いてください。
- 専用手洗いユニットの10cm前出しタイプを取り付ける場合は、壁から100mm離して置いてください。

### 排水芯位置によって施工方法が異なります

#### けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

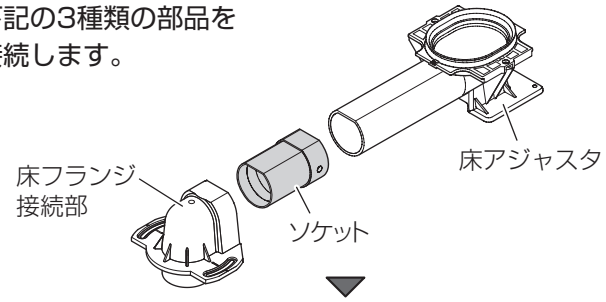
下記の2種類の部品を
接続します。




次ページの A を参照し、施工してください。

#### けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

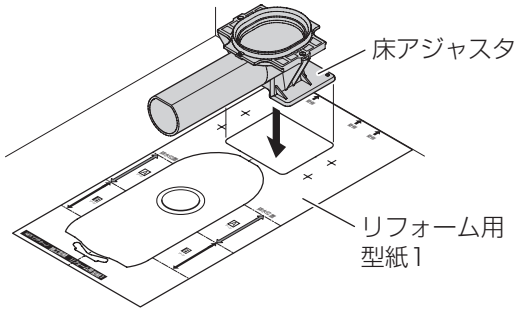
下記の3種類の部品を
接続します。




次ページの B を参照し、施工してください。

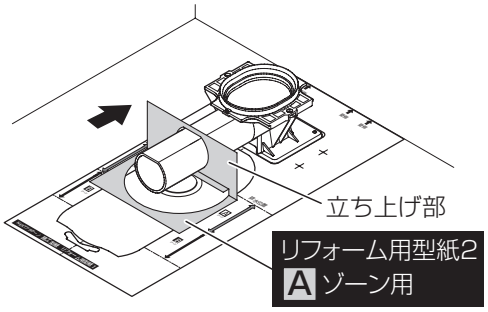
## けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

**1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

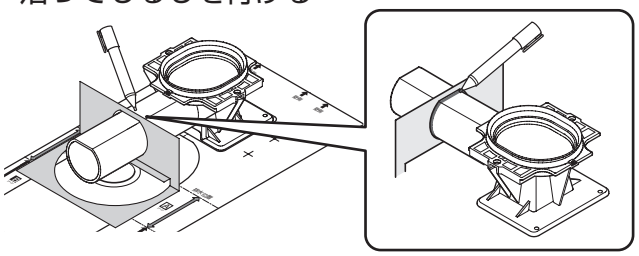



**2** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

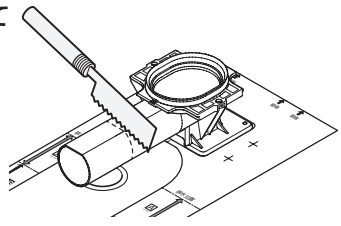
**3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Aゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する




**4** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



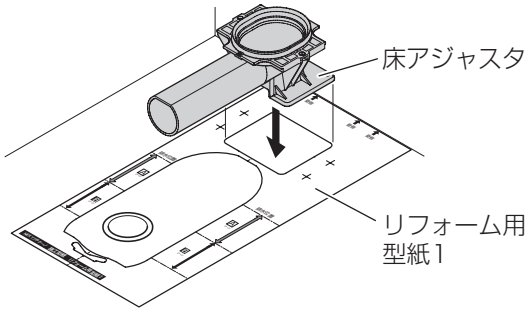
**5** リフォーム用型紙2(Aゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する




※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

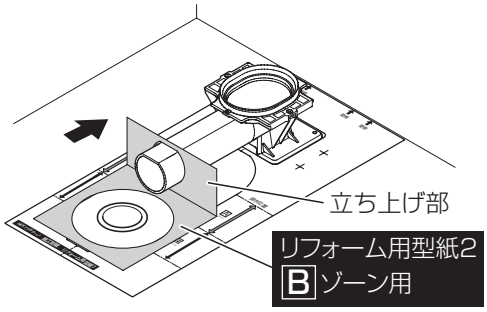
## けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

**1** 床アジャスタを切り欠き部に合わせて仮置きする

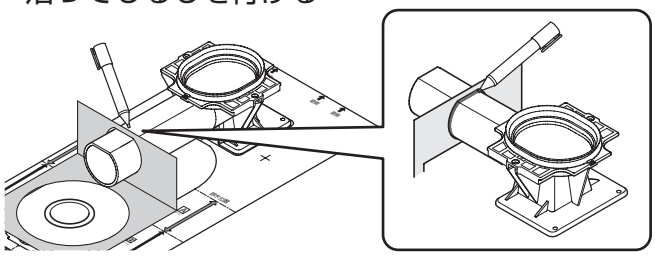



**2** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を組み立て、立ち上げ部を垂直に立ち上げる

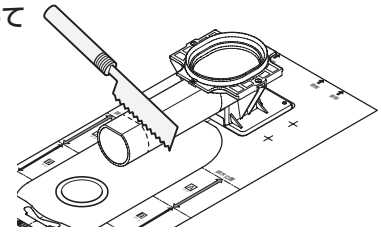
**3** 床アジャスタにリフォーム用型紙2(Bゾーン用)を差し込み、排水管の中心に合わせて設置する




**4** リフォーム用型紙２(Bゾーン用)の立ち上げ部に沿ってしるしを付ける



**5** リフォーム用型紙2(Bゾーン用)を取り外す。しるしが垂直であることを確認し、しるしに沿って床アジャスタを切断する




※リフォーム用型紙1は床アジャスタを固定するまで取り外さないでください。

## ⚠注意

必ず守る

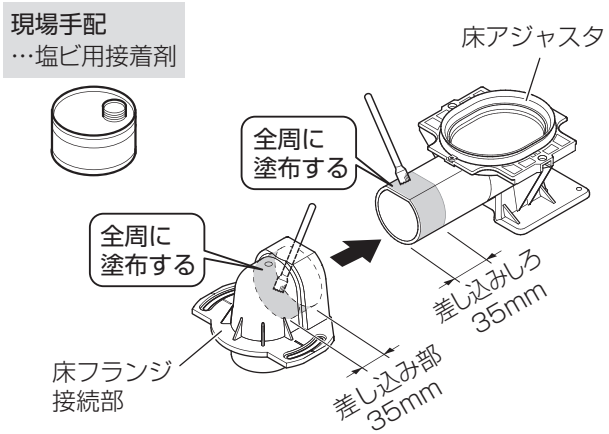
**床アジャスタを切断後は端部のバリ、汚れを完全に取り除く**

バリや汚れが付着したまま接着すると水漏れの原因になります。

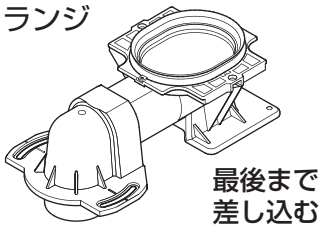
# 排水アジャスタの組み立て

## けがき線が型紙1の A ゾーンの場合

**1** 床フランジ接続部の差し込み部と、床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗布する

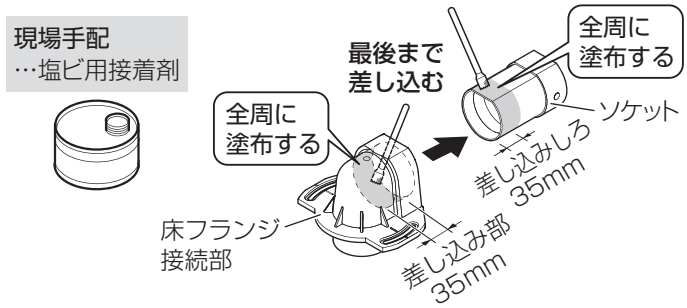



**2** 床アジャスタを床フランジ接続部に差し込む

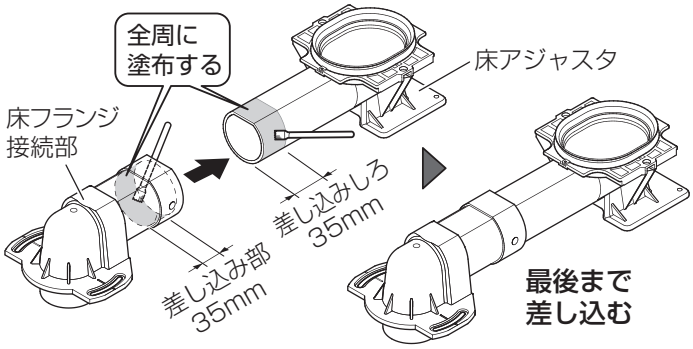



## けがき線が型紙1の B ゾーンの場合

**1** 床フランジ接続部の差し込み部とソケットの差し込みしろに塩ビ用接着剤を塗り、ソケットを差し込む




**2** ソケット差し込み部と床アジャスタの差し込みしろに塩ビ用の接着剤を塗り、組み立てる




## ⚠注意

**必ず守る**

**排水アジャスタの接着は、接着面全周に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分押し込んで接着する**

施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

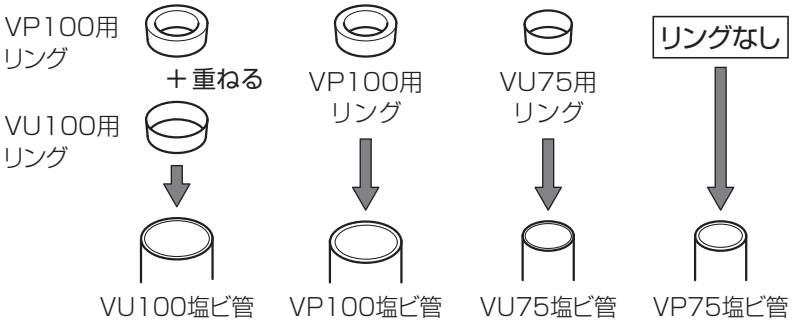
# 排水アジャスタの取り付け

**A ゾーン・B ゾーン共通**

ねじ固定前に下穴(φ3mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

**1** 排水管に適合するリングを選ぶ
(VU／VP100用リングは、床フランジ接続部に仮固定されています。)
※下図組み合わせにないリングは使用しません。

| | |
|---|---|
| VU75用リング | |
| VP100用リング | |
| VU100用リング | |

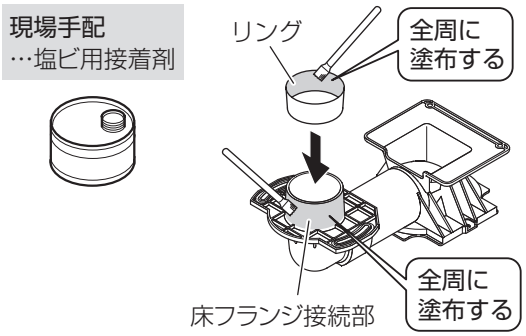


## A ゾーン・B ゾーン共通

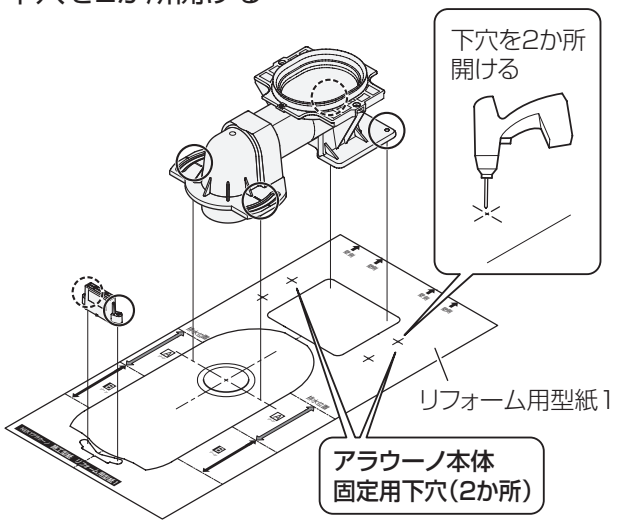
※イラストはAゾーンの場合です。

**2** 床フランジ接続部の差し込み部とリングの内側に塩ビ用接着剤を塗布する

**3** 床フランジをリングに差し込む



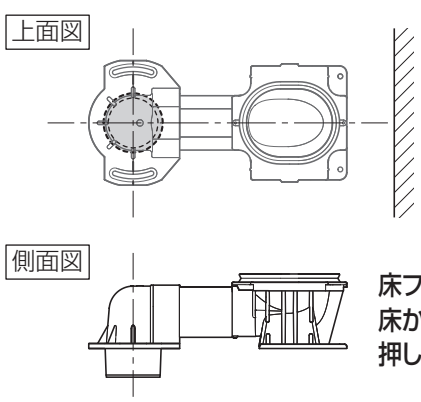

**4** リフォーム用型紙1の床固定位置にφ3mmの下穴を2か所開ける



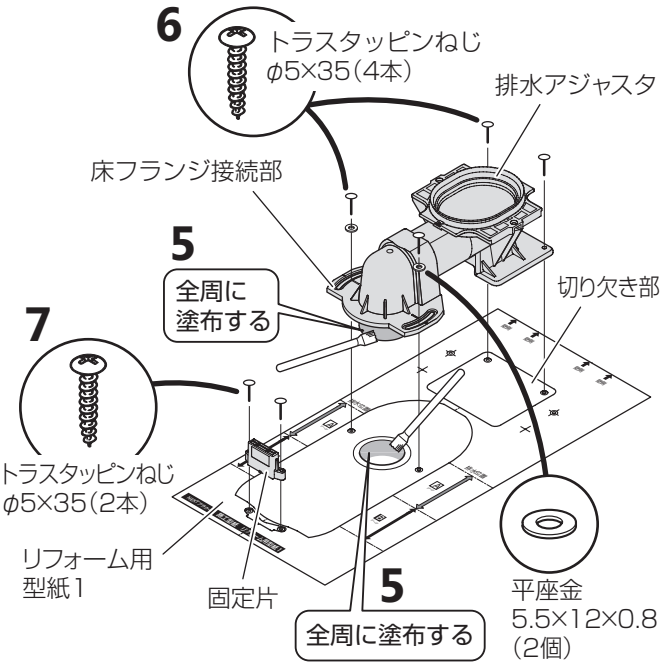

**5** 床フランジ接続部全周に塩ビ用接着剤を塗布する

**6** リフォーム用型紙1の切り欠き部に合わせて床フランジ接続部、排水アジャスタを設置し、ねじで4か所固定する

※床フランジ接続部は平座金を使用してください。



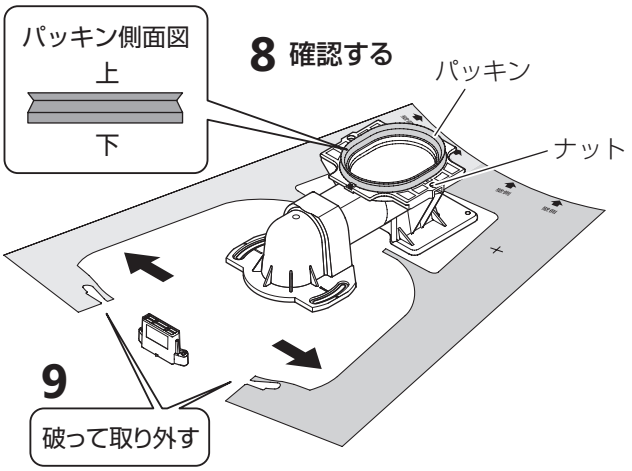

**7** 固定片をリフォーム用型紙1の切り欠き部にはめ、ねじで2か所固定する




**8** 排水アジャスタ上部にパッキン、ナットが取り付けられていることを確認する

※向かって右側に給水位置がある場合は、便器を設置する前に延長給水ホースを壁にそって仮置きしてください。

**9** リフォーム用型紙1を破って取り外す




### ⚠注意

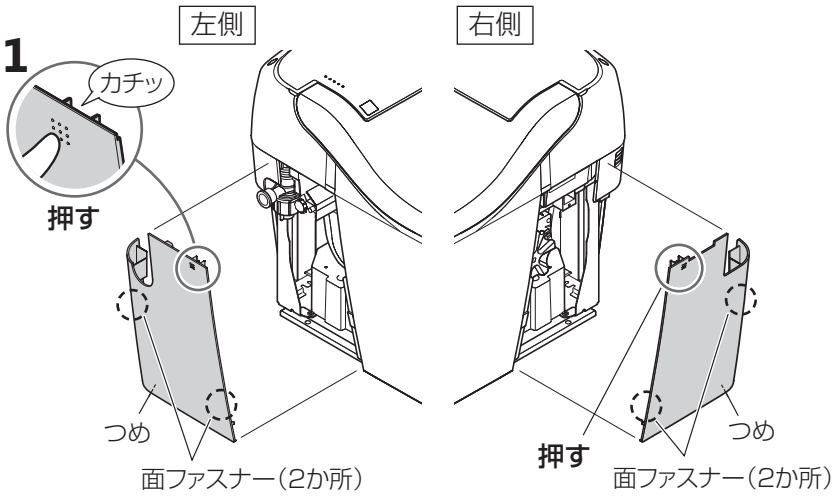
必ず守る

- **2階以上のトイレルームに設置するときは必ず排水管まわりにシーリングを行う**
  排水詰まりの原因になります。
- **排水アジャスタが床から浮いたり、がたつかないように床フランジをしっかりと押し込む**
  水漏れの原因となります。
- **パッキンの上下の向きを確認する**
  水漏れの原因となります。

# サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

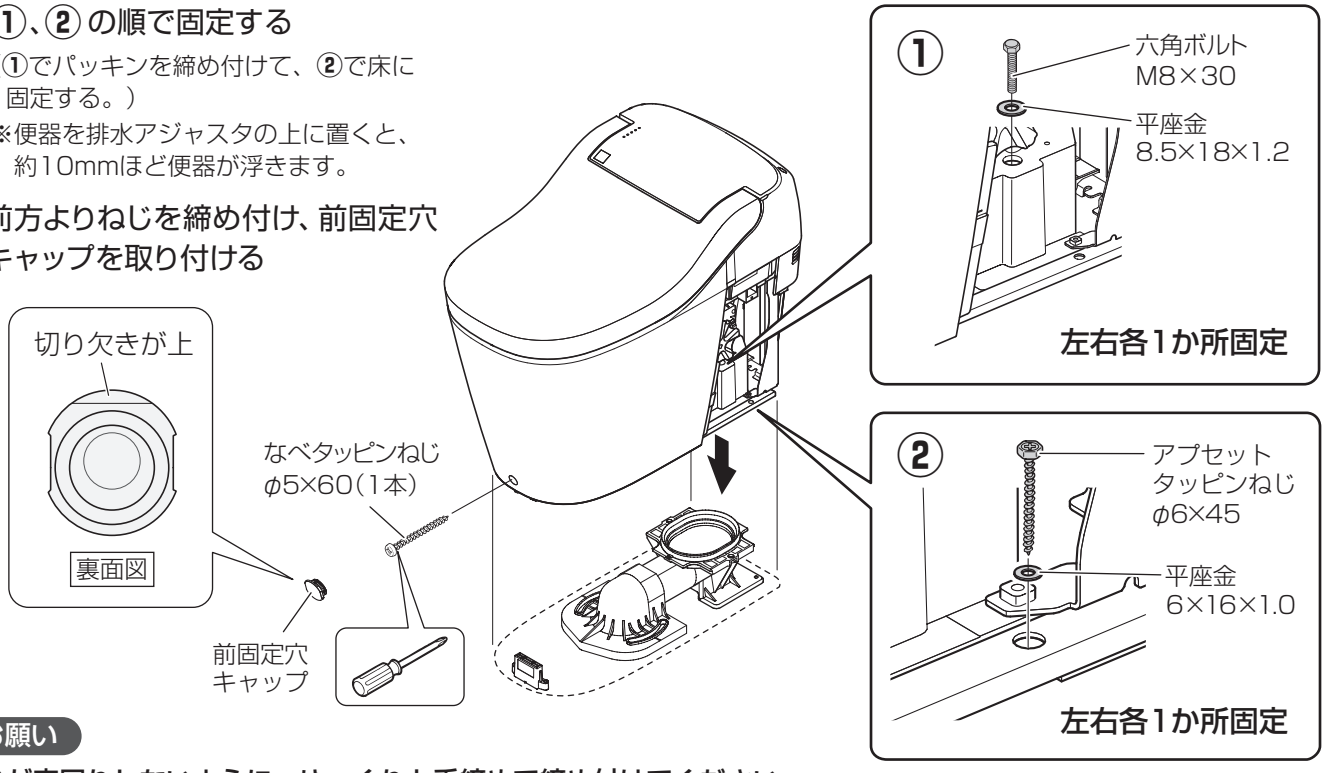
**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所と、つめ1か所を外す。）




# 便器の取り付け

**1** 排水アジャスタの上から便器を置き、①、② の順で固定する
（①でパッキンを締め付けて、②で床に固定する。）
※便器を排水アジャスタの上に置くと、約10mmほど便器が浮きます。

**2** 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける




お願い

ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。

## ⚠警告

禁止

**便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**

火災や感電の原因になります。

## ⚠注意

必ず守る

**便器本体と床を固定する金属フレームと床との間にすき間がなくなるまで締め付ける**

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。便器を置いたままずらすと、パッキンがねじれ水漏れの原因になります。

41ページの「止水栓への接続」へすすんでください。

# 後ろ抜きの場合

〔寸法単位：mm〕

**はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。**

## 配管工事

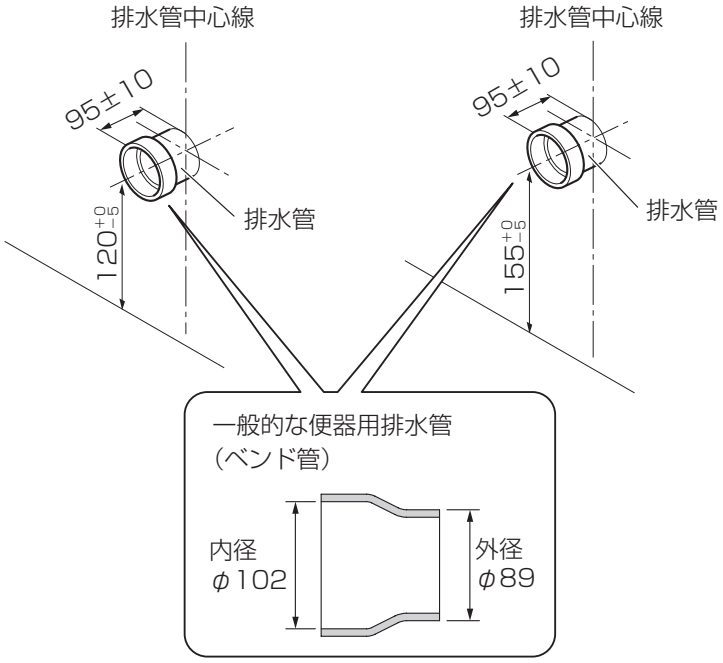
排水管を確認する

**⚠注意**

必ず守る

- **便器に接続する排水管は、必ず1/50以上の十分な排水こう配をとる**

●120タイプの場合　●155タイプの場合



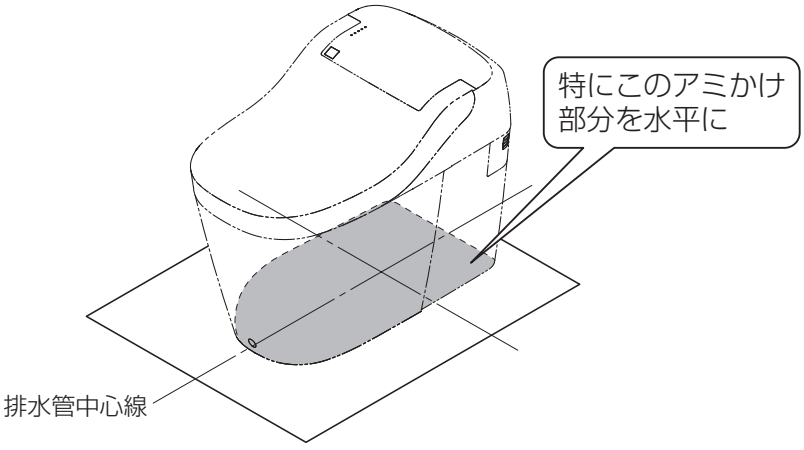

## 床工事

床面を水平に仕上げる

**⚠注意**

必ず守る

- **床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する**
  水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。




**手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください**（手洗いに同梱の施工説明書を参照）**オプション**

# 排水管と本体の接続

**120 タイプ** の場合

下記手順に従って施工してください。

**155タイプ** の場合

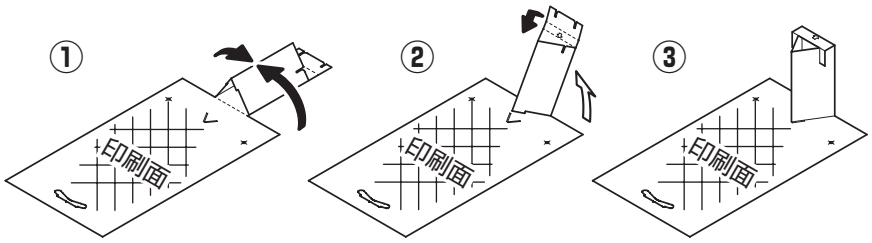
台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書2～5ページ（**2**～**7**）を参照してください。

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

## 1 型紙の組み立てと固定片の取り付け

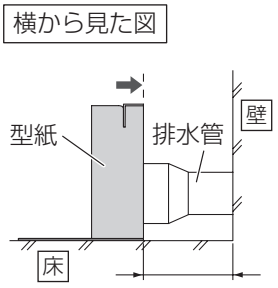
**1** 型紙を組み立てる

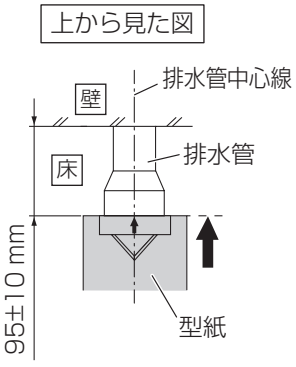
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

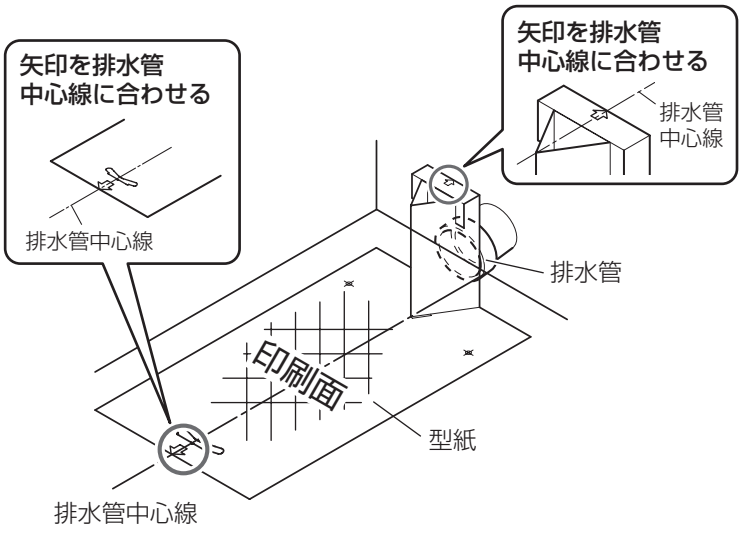



**2** 排水管の先端に壁排水用型紙を合わせる

（型紙の矢印を排水管の中心に合わせる。）



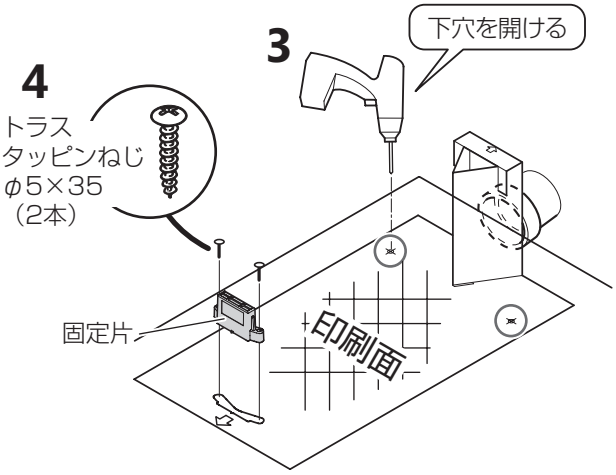




**3** 便器取り付け穴にφ3の下穴を2か所開ける

**4** 固定片を型紙の切り欠き部に合わせて固定する

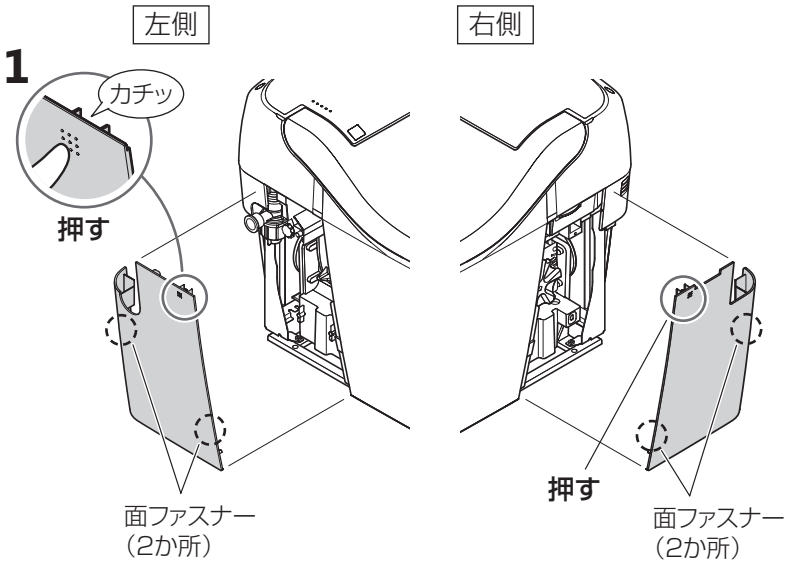
**5** 型紙を破って取り除く



## 2 サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

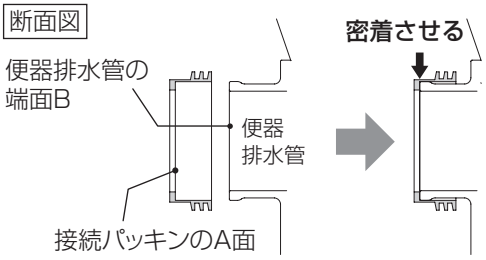
**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）

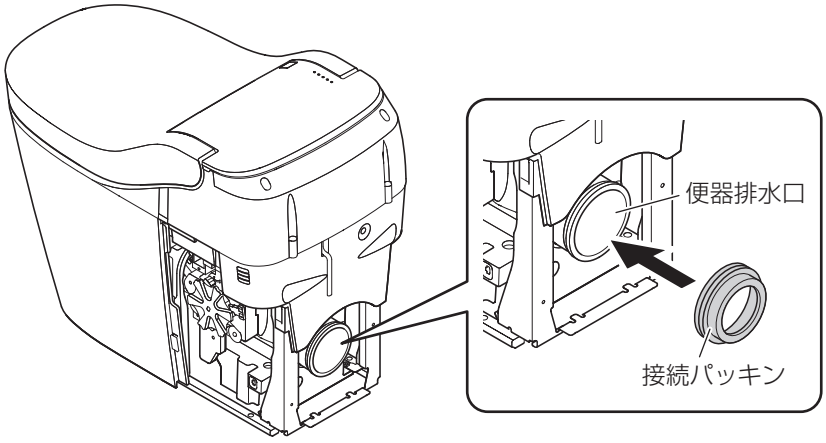



## 3 排水管の接続

**1** 便器排水口に接続パッキンを取り付ける

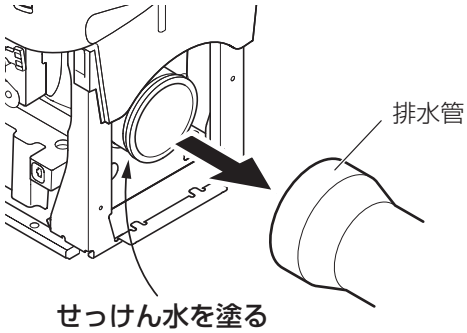
お願い **便器排水管の端面Bと接続パッキンのA面が密着するまで差し込んでください。**

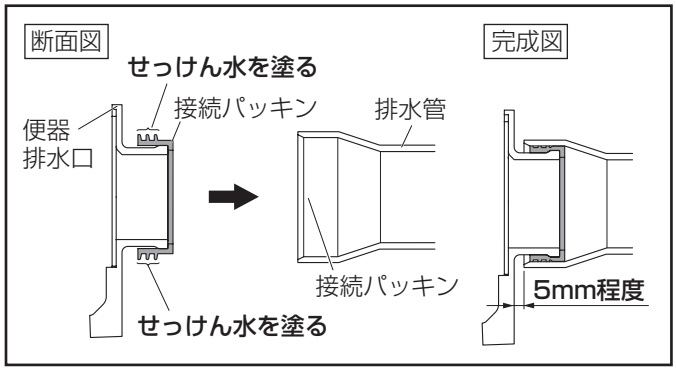



**2** 接続パッキンの蛇腹部分にせっけん水を塗る

**3** 本体を排水管につきあたる所（パッキンが見えなくなるまで）まで押し込み、設置する




### ⚠注意

**必ず守る**

**排水管は奥まで十分に差し込み、接続する**

水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

40ページの「便器の取り付け」へすすんでください。

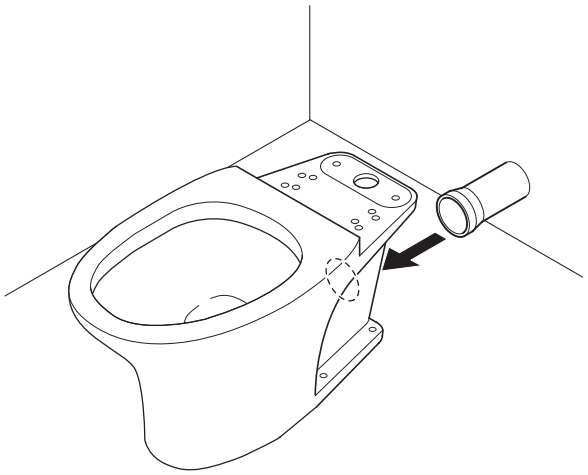
# 排水ジョイント接続の場合

〔寸法単位：mm〕

**はじめに14ページの「給水位置の確認」「止水栓の取り付け」を確認してください。**

## 既設便器の取り外し

既設の便器を取り外す



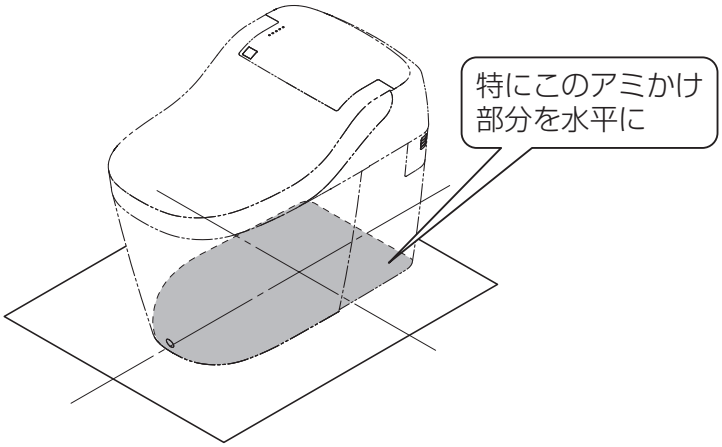
## 床工事

床面を水平に仕上げる

**⚠注意**

必ず守る

- **●床面は、水平に施工する**
  凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。
- **●便器を取り付ける床面は24mm厚以上の合板を使用する**
  水漏れや転倒によるけがなどの原因になります。

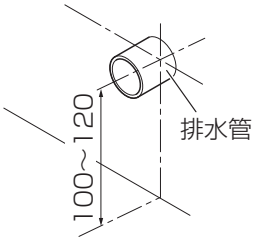


# 排水管と本体の接続

## 排水ジョイントSを使用する場合

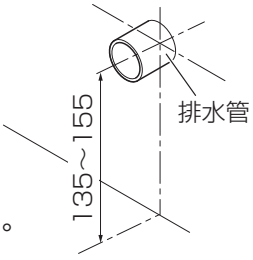
●排水管の中心から床まで
100～120mm

下記手順に従って施工してください。




●排水管の中心から床まで
135～155mm

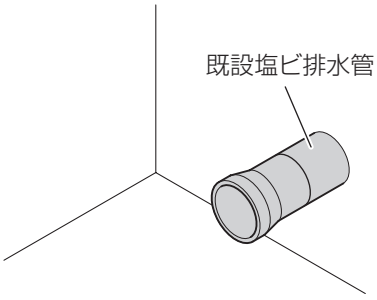
台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書6～12ページを参照してください。

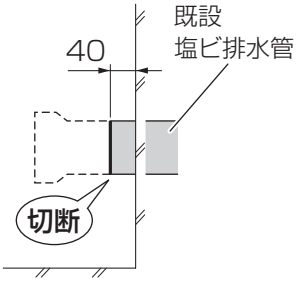



### 1 既設排水管の切断

**1** 既設排水管を壁から40mm以上残して切断する

**2** 既設排水管切断面のバリを取り除く



側面図

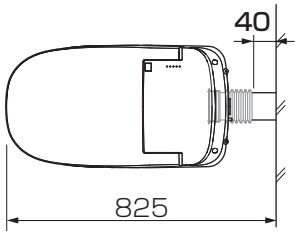
**⚠注意**

必ず守る

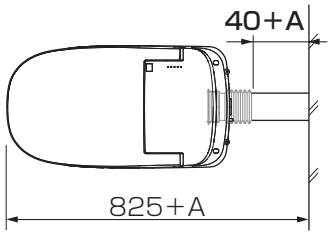
**既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く**

バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。

●40mmで切断した場合




●40mm以上で切断した場合

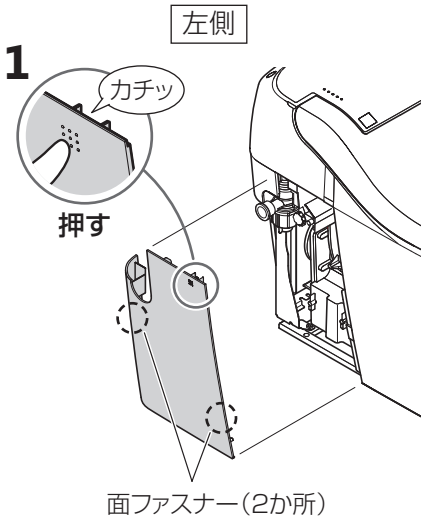


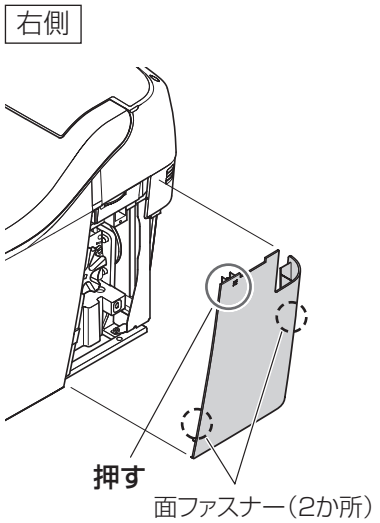

排水管の長さが長くなると、その分便器が前に出ます

### 2 サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）



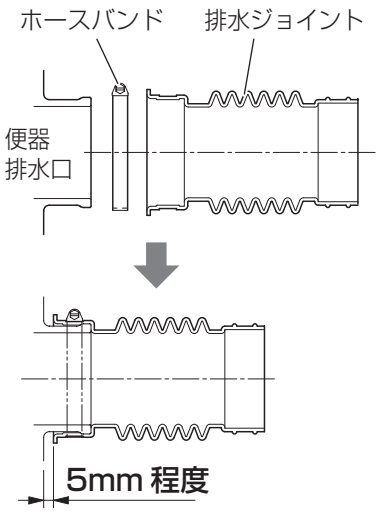

壁 排水ジョイント接続の場合

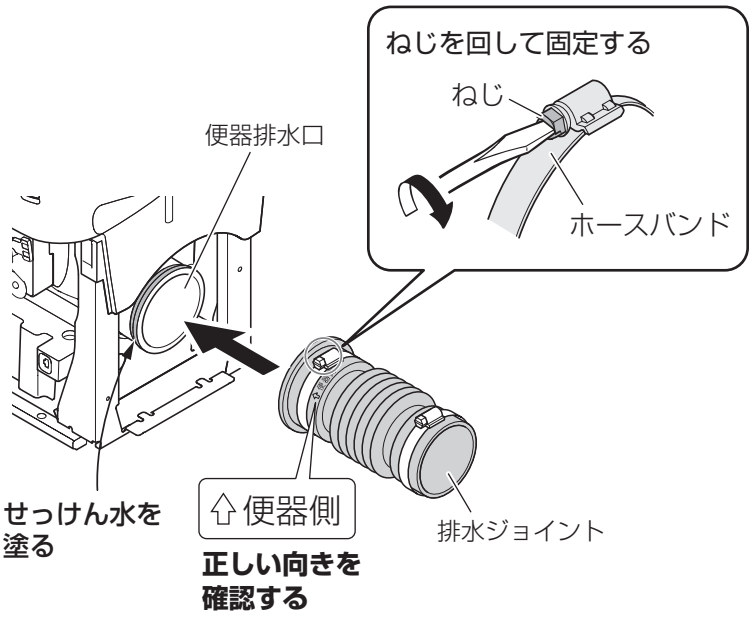
## 3 排水ジョイントの取り付け

**1** 便器排水口に排水ジョイントを差し込む

あらかじめ差込部にせっけん水を
塗っておくと、差し込みが容易です。

**便器排水口が下図のように奥まで
差し込まれていることを確認する**



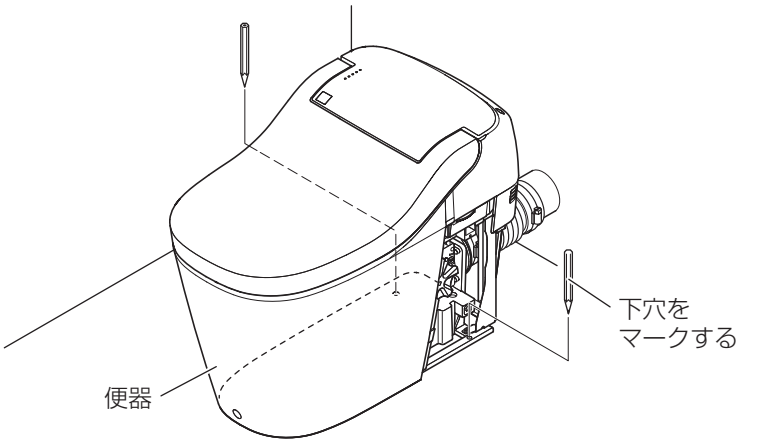




**2** マイナスドライバーなどを使用して、
接続部をホースバンドで固定する

## 4 便器固定位置の確認

便器を固定位置に仮置きし、便器
取り付け穴位置にマークする

・取り付け穴にクッション材がある場合、
貫通させてマークしてください。
・便器がななめになっていないことを確認
してください。

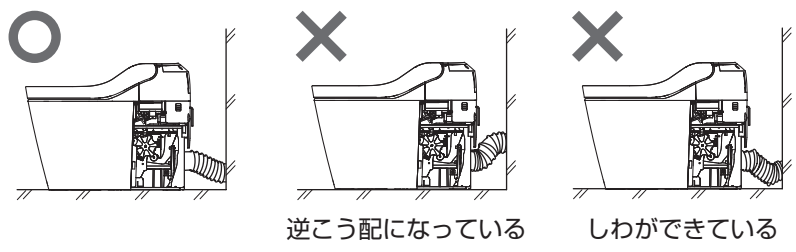



### ⚠注意

禁止

- **●排水ジョイントを逆こう配にしない**
- **●排水ジョイントを無理に曲げない**

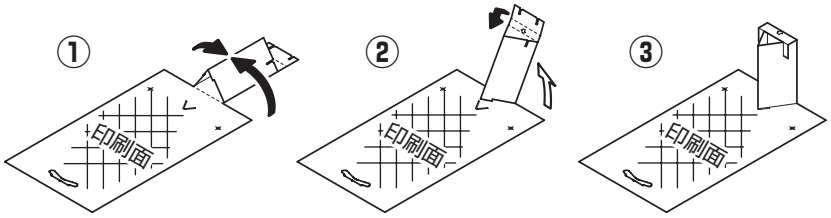
  器具の洗浄性能が低下したり、
  汚水が器具のトラップ内に逆流し、
  水漏れするおそれがあります。




手洗いを設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください（手洗いに同梱の施工説明書を参照） オプション

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

## 5 型紙の組み立てと固定片の取り付け



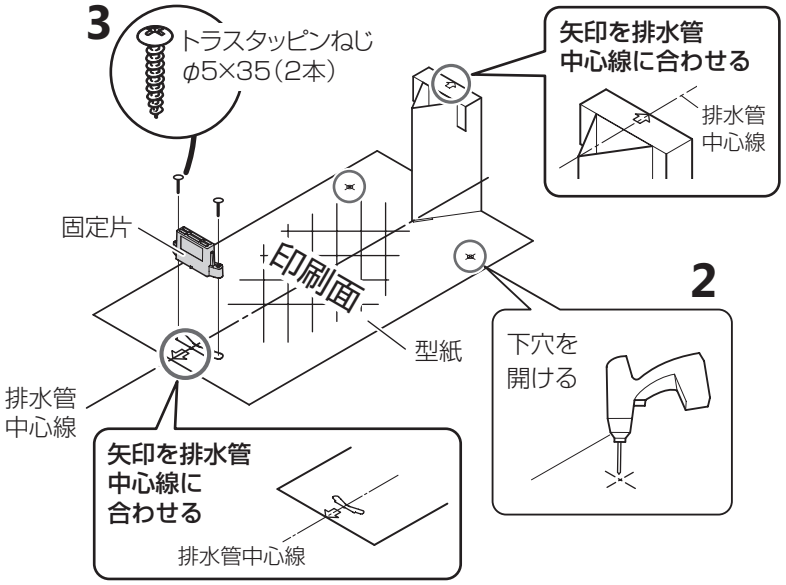

**1** 型紙を組み立てる
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

**2** **4** でマークした便器取り付け穴に型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、φ3の下穴を2か所開ける

**型紙の矢印と排水管中心線が合っていることを確認してください。**

**3** 固定片を型紙の切り欠きに合わせて固定する

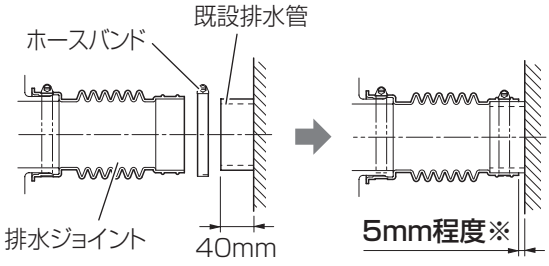
**4** 型紙を破って取り外す




## 6 排水管の接続

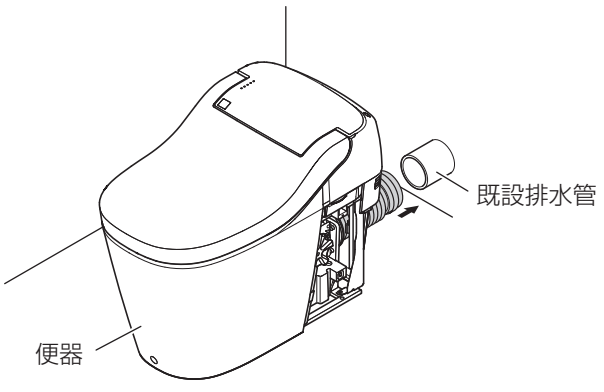
**1** 排水ジョイントの差込部内周と既設排水管の差込部外周に塩ビ用接着剤を塗り、差し込む

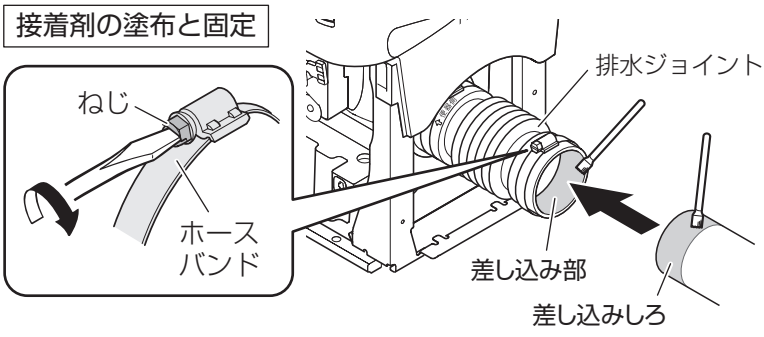
**排水管が下図のように奥まで差し込まれていることを確認する**




※既設排水管の長さが40mmの場合

**2** マイナスドライバーなどで接続部をホースバンドで固定する



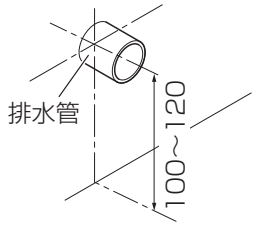




40ページの「便器の取り付け」へすすんでください。

## 排水ジョイントLを使用する場合

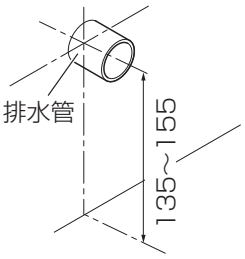
●排水管の中心から床まで
**100～120mm**

下記手順に従って施工してください。




●排水管の中心から床まで
**135～155mm**

台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書
7～12ページを参照して
ください。




## 1 既設排水管の切断

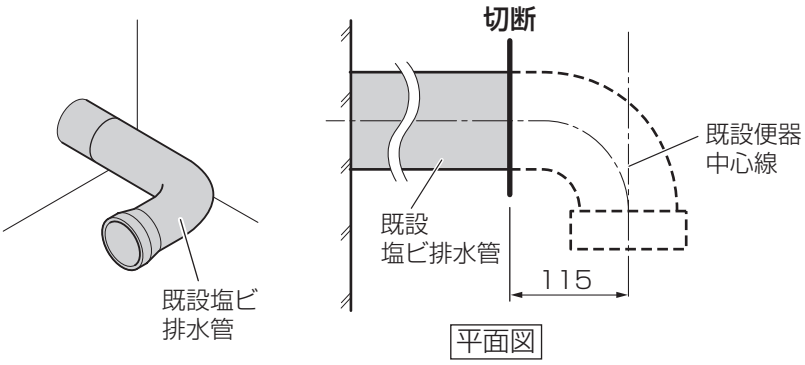
**1** 既設排水管を便器中心線から115 mmの位置で切断する

**2** 既設排水管切断面のバリを取り除く

**⚠注意**

必ず守る

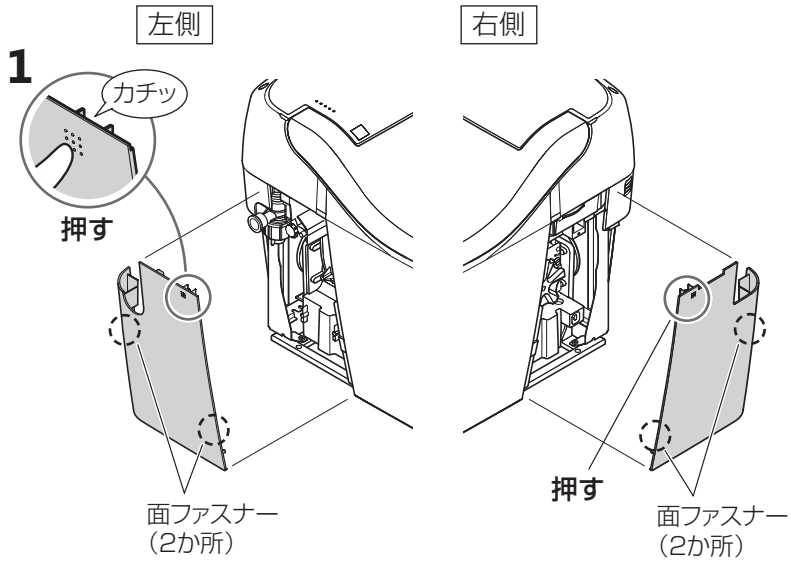
**既設排水管切断面のバリは、必ず取り除く**
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れのおそれがあります。




## 2 サイドカバーの取り外し

**1** サイドカバーの ⁘ 部を押す

**2** すき間から指を入れ、外れるまで水平方向に引き出す
（面ファスナー2か所を外す。）

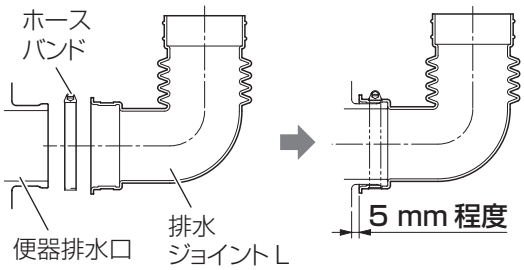


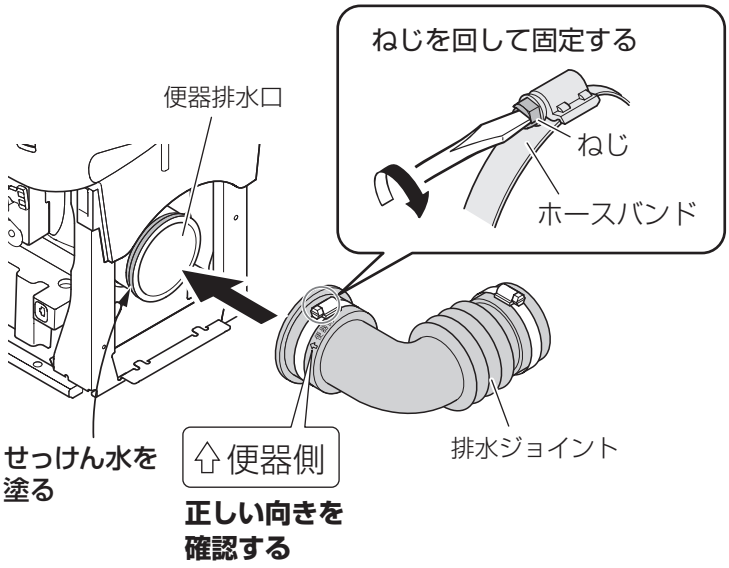
## 3 排水ジョイントの取り付け

**1** 便器排水口に排水ジョイントを差し込む

あらかじめ差込部にせっけん水を
塗っておくと、差し込みが容易です。

**便器排水口が下図のように奥まで
差し込まれていることを確認する**



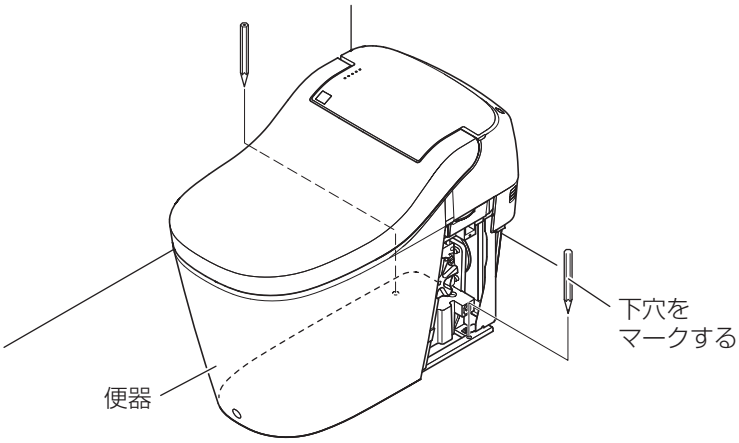




**2** マイナスドライバーなどを使用して、
接続部をホースバンドで固定する

## 4 便器固定位置の確認

便器を固定位置に仮置きし、便器
取り付け穴位置にマークする

・取り付け穴にクッション材がある場合、
貫通させてマークしてください。
・便器がななめになっていないことを確認
してください。




**⚠注意**

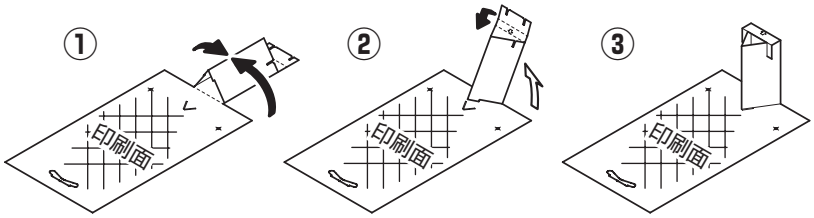
| | |
|---|---|
| 禁止 | **排水ジョイントを逆こう配にしない**<br>器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流し、水漏れするおそれがあります。 |

**専用手洗い背面タイプ(フロート型)を設置する場合は、ここで手洗いを取り付けてください** オプション
**(手洗いに同梱の施工説明書を参照)**

ねじ固定前に下穴（φ3程度）を開けると作業しやすくなります。
（床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。）

## 5 型紙の組み立てと固定片の取り付け

**1** 型紙を組み立てる
図のように折り目にそって型紙を折り、組み立ててください。

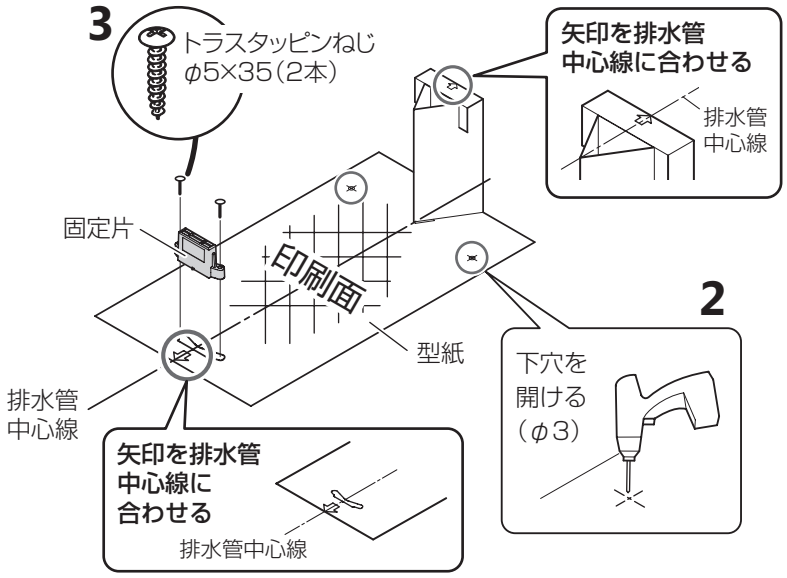



**2** **4** でマークした便器取り付け穴に型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、φ3の下穴を2か所開ける

**型紙の矢印と排水管中心線が合っていることを確認してください。**

**3** 固定片を型紙の切り欠きに合わせて固定する

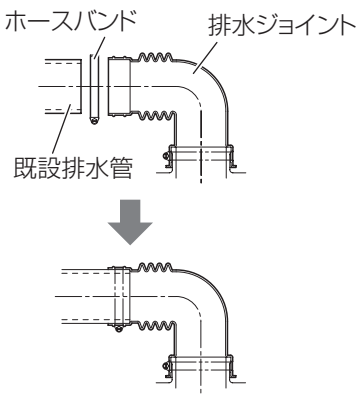
**4** 型紙を破って取り外す



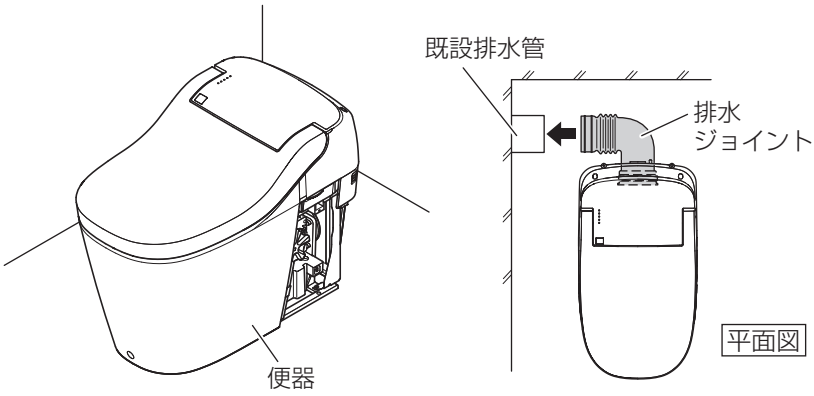

## 6 排水管の接続

**1** 排水ジョイントの差込部内周と既設排水管の差込部外周に塩ビ用接着剤を塗り、差し込む

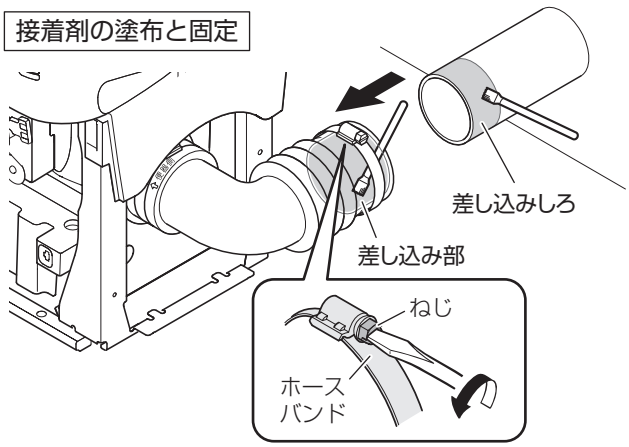
**排水管が下図のように奥まで差し込まれていることを確認する**




**2** マイナスドライバーなどで接続部をホースバンドで固定する




接着剤の塗布と固定



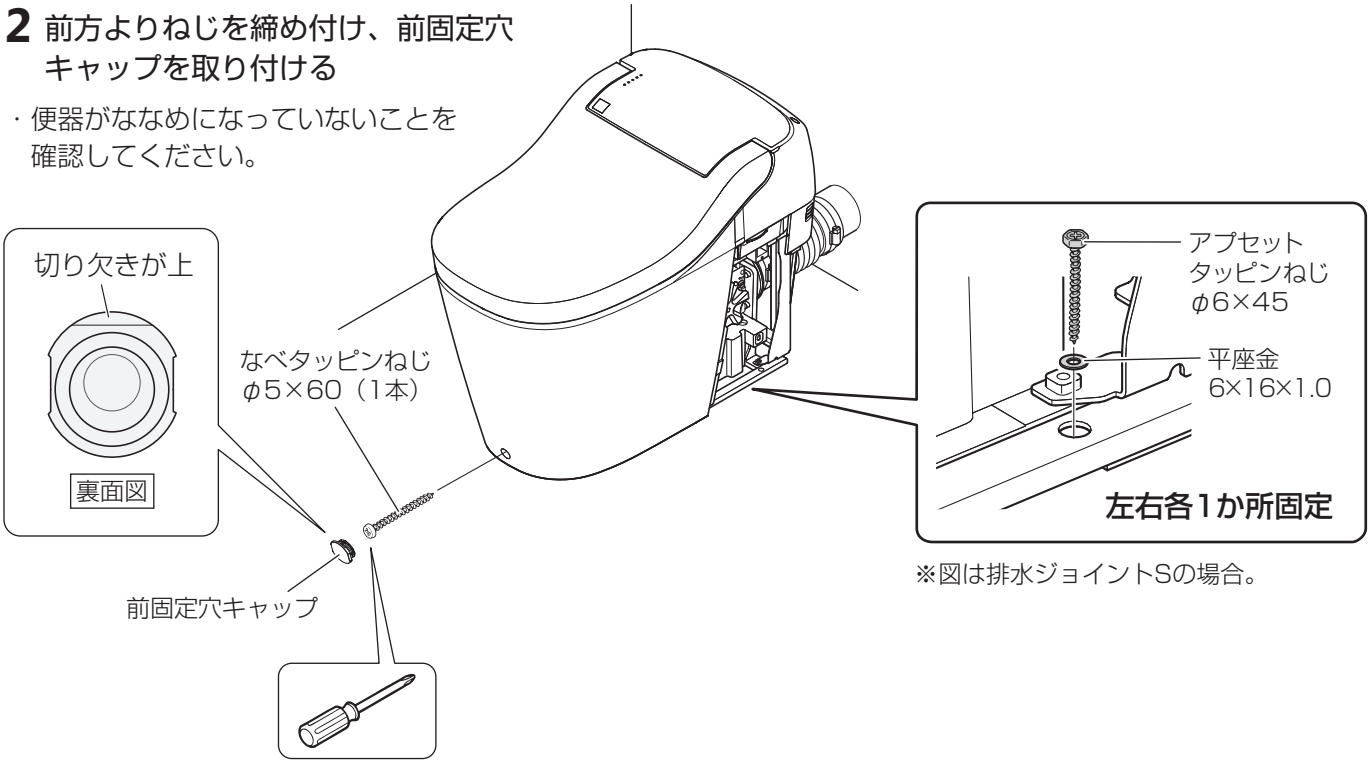
**壁排水タイプ共通の施工手順です。**

# 便器の取り付け

**1** 下穴位置を確認し、ねじ(左右各1か所)で確実に固定する

**2** 前方よりねじを締め付け、前固定穴キャップを取り付ける

・便器がななめになっていないことを確認してください。




※図は排水ジョイントSの場合。

**お願い**

**ねじが空回りしないように、ゆっくりと手締めで締め付けてください。**

## ⚠警告

禁止

**便器を取り付けるときは、電源コードやアース線をはさみ込まない**

火災や感電の原因になります。

## ⚠注意

必ず守る

**床からの浮きがないようにしっかりと固定する**

便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

〔寸法単位：mm〕

# 止水栓への接続

●給水位置の確認で既設給水位置が給水取付可能範囲にあるか、確認してください。

### 止水栓と給水ホースを接続する

※給水ホースがねじれたり折れたりした場合は、必ず止水栓の向きを調整してください。
（曲げ半径50 mm以上）
便器洗浄水量などが不足する場合があります。

**⚠注意**

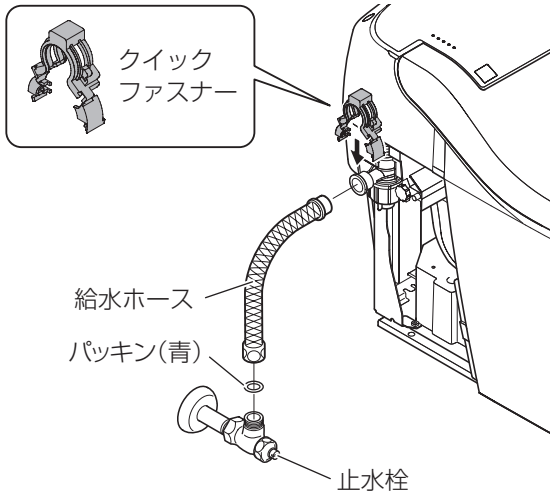
**必ず守る**

**止水栓にがたつきのないことを確認する**

水漏れの原因となります。

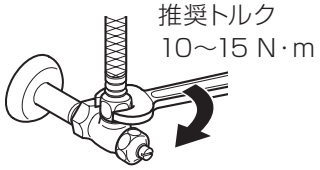
## 向かって左側に給水位置がある場合

給水ホースに止水栓を接続する。



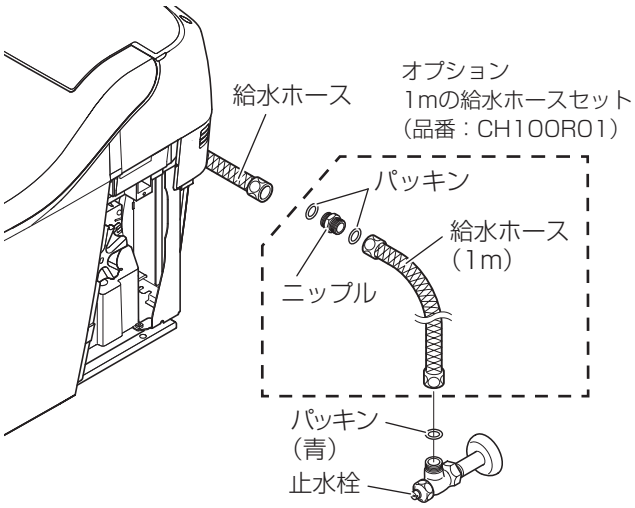

**お願い**

**給水ホースは過大な力で締めすぎないでください。**




## 向かって右側に給水位置がある場合

オプションの1 mの給水ホースセット
（品番：CH100R01）を手配し、接続する。




**お願い**

**必ずオプションの1 mの給水ホースセット（品番：CH100R01）を使用してください。**

市販のものを使用されると、流量が出ないため洗浄性が悪くなるおそれがあります。

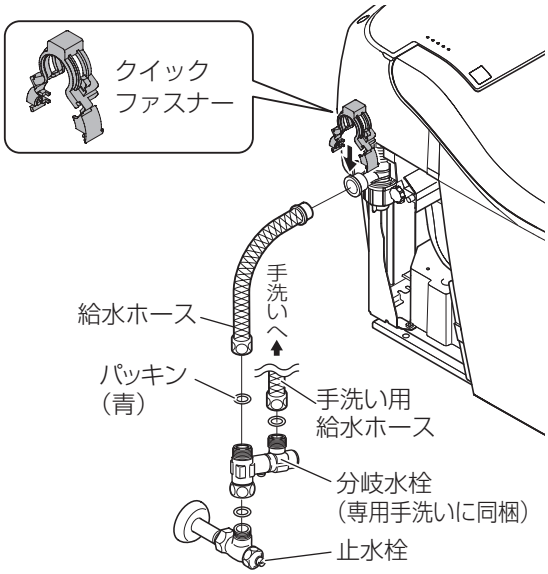
## 手洗ユニットとセットの場合

給水ホースと手洗い用給水ホースの分岐水栓への取り付け位置に注意してください。

※給水ホースと手洗い用給水ホースの取り付け位置が逆になると、便器、手洗いに適切な流量が供給されません。

**止水栓の位置が、手洗いと逆側にある場合**

手洗い用給水ホースは、便器本体の後側を通して接続してください。

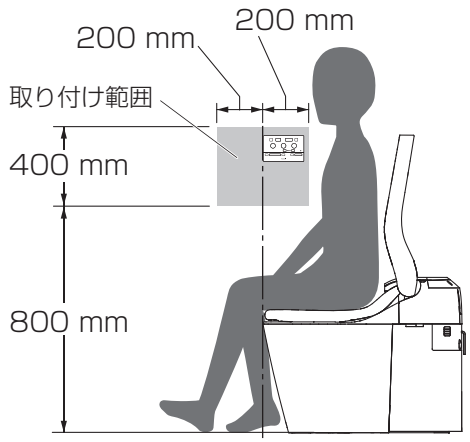


# リモコンの準備

**1** リモコンからリモコンホルダーを外す

**2** リモコンホルダーを取り付ける

取付位置の目安




●お客様と十分ご相談のうえ、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。(「取付位置の目安」参照)

●取り付け前に必ずリモコンの信号が受信できることを確認してください。

●リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受信しますので、本体受信部・リモコン発信部の上部に棚やカウンターなどを設置しないでください。

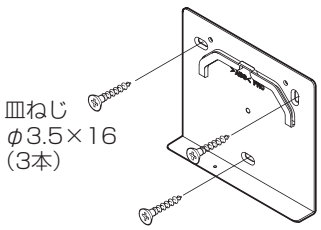
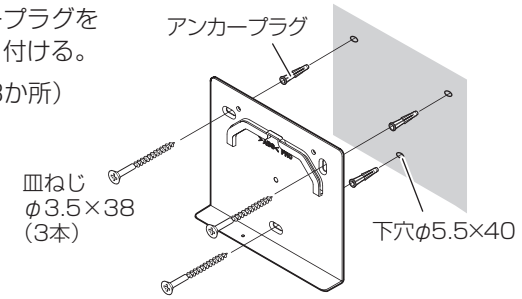
●次のような場合に動作に影響するおそれがあります。

**【直射日光が本体受信部・リモコン発信部にあたっている場合】**
直射日光をカーテンなどで遮断してください。

**【壁紙や天井が黒色や濃い色の場合】**
リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。

**【同室で2台以上並べて設置される場合】**
隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。壁を天井までつなげてください。
もしくは、リモコンのアドレス変更をしてください。(52ページ参照)

■リモコンホルダーの取り付け例

| ねじ止めできる壁材 | ねじ止めできない壁材 |
|---|---|
| 各種合板・厚み5mm以上の壁 | 石こうボード・タイル・コンクリートなど |
| 同梱の木ねじ3本で壁面に取り付ける。<br>  | 下穴を開けてアンカープラグを差し込み、ねじで取り付ける。<br>下穴：φ5.5×40（3か所）<br>  |

**3** リモコンに電池を入れる

電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。

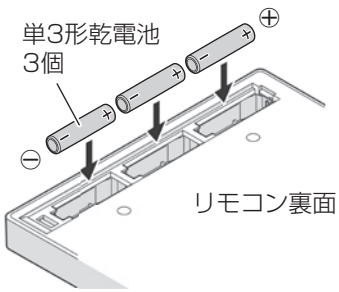
**⚠警告**

**必ず守る**

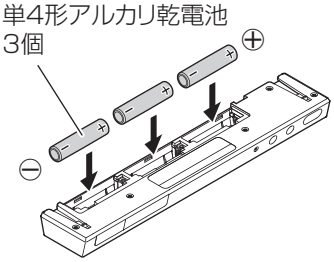
**電池の ⊕、⊖ を正しく入れる**

取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

フラットリモコンの場合



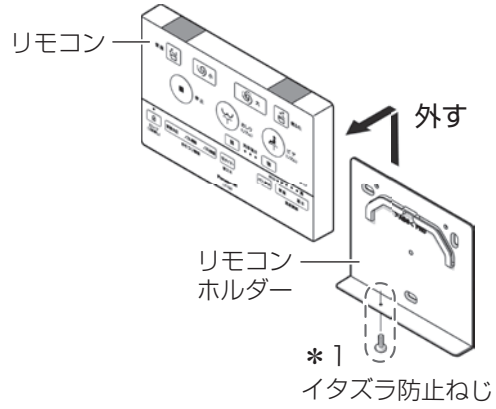

スティックリモコンの場合



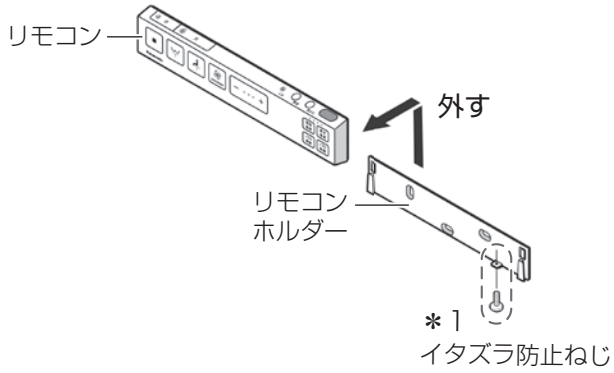
## 4 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

＊1 このねじはCH1602＊Gのみ使用します。お客様と十分ご相談のうえ、イタズラ防止が必要な場合は、精密ドライバーでねじを固定してください。

フラットリモコンの場合




スティックリモコンの場合




# 本体への給水と通電

**⚠警告**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | ●電源コードを無理に引っ張ったり押し込んだりしない<br>けがや発火、発煙の原因になります。 | 必ず守る | ●必ず交流100 Vで使用する<br>●コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する<br>たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。<br>●アース工事[D種(第3種)接地工事、接地抵抗100 Ω以下]を行う<br>接地しないと漏電のときに感電するおそれがあります。 |

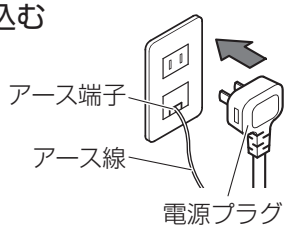
## 1 アース線を接続する

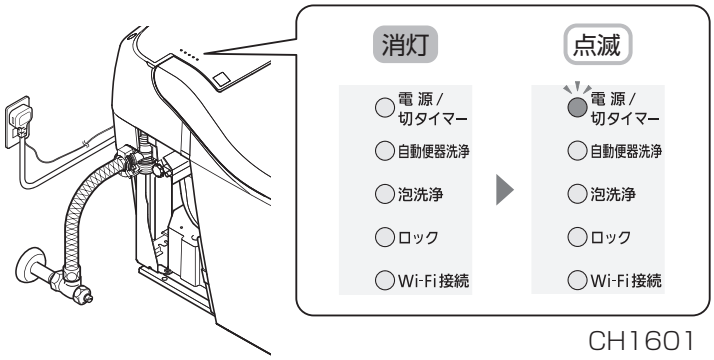
## 2 止水栓を開く

## 3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを差し込んで約3秒後に、本体表示部の電源ランプが約6秒間点滅します。

※この約9秒間はすべての操作を受け付けません。




CH1601

## 4 温水タンクへ給水する

リモコンの ノズル掃除＊ を押してください。

ノズルが出て約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

＊CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

## 5 ■停止 を押す

ノズルが元に戻ります。

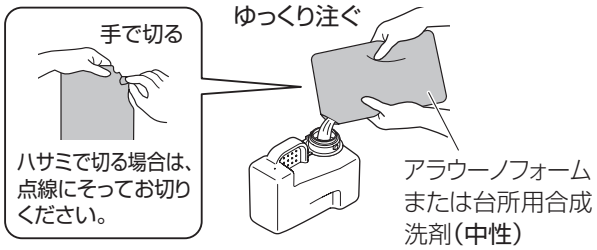
# 洗剤タンクの取り付け

お客様への引き渡しが1か月以上先の場合は、
洗剤を洗剤タンクに入れないでください。

＊CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

## 1 洗剤キャップを取り外す

## 2 洗剤を入れる

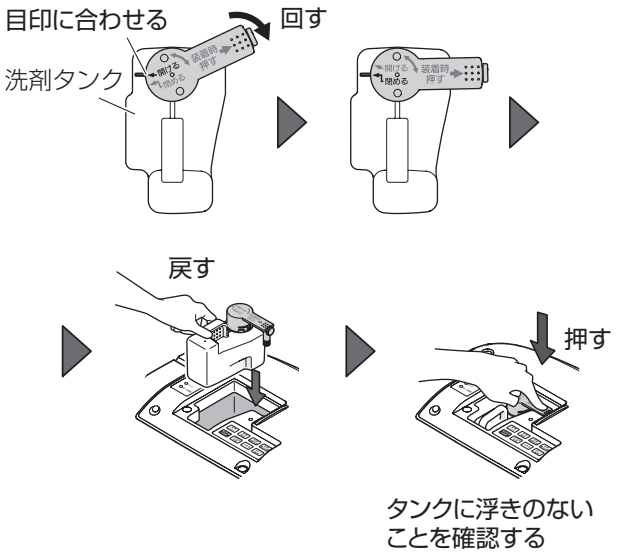



※アラウーノフォームの
パックは強く持つと液が
飛び出ることがあります。

**お願い** ※種類の異なる洗剤は混ぜないでください。
洗剤が反応して、故障の原因になります。

- **補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにご注意ください。**
- **タンク外に液垂れし本体に付着した場合は、すぐに水ぶきで取り除いてください。**

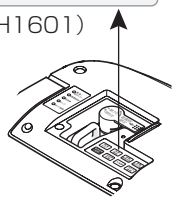
## 3 洗剤キャップを閉め、洗剤タンクを戻す




## 4 洗剤開始 ＊ を押す

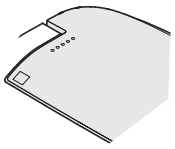
モーター音が鳴り、
洗剤供給を開始します。

本体ボタン(CH1601)



※約1～2分後「ピー」と鳴って、
洗剤供給が終了してから
次の作業を行ってください。

操作後、トップカバーを閉じてください。



※この操作を完了させないと洗剤
が投入されず、泡が出ません。

## 5 大 を押して便器洗浄する

- 洗浄後、水面に洗剤の泡が浮いていることを確認してください。
- 泡が出ない場合は、もう一度 洗剤開始 を押してください。

※それでも出ない場合は取扱説明書を参照。

**お願い**

- **長期不在などで、使用しない場合は洗剤タンクの水洗いと本体内洗浄をしてください。**
- **洗剤キャップを開けたまま使用しないでください。**

**お知らせ**

- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。洗浄性能には影響しません。
  泡の量を調整したい場合は取扱説明書を参照。
- 洗剤開始ボタンを押した当初は、数回の洗浄の間、泡の量が増加する場合があります。故障ではありません。

# 便器洗浄と水漏れの確認

## ⚠注意

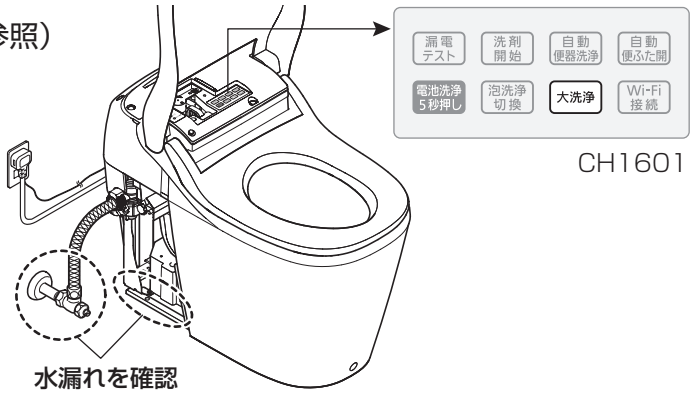
| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | **設置後、便器本体を一度取り外す場合は、洗剤タンクが入ったまま便器本体を横置き、ななめ、裏返しにしない**<br>洗剤が漏れ、感電・火災の原因になります。 | **必ず守る** | **止水栓を開く前に、必ず同じ配管系統で排水し、給水配管の空気を抜く**<br>商品の破損や水漏れの原因になります。 |

必ず温水タンクの給水を行ってください。（43ページ参照）

本体ボタンの [大洗浄] または

リモコンの [大] を5～6回押し、

止水栓や排水管と本体との接続部から
水漏れがないことを確認する




CH1601

# 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）

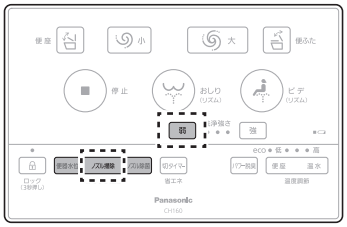
一部の都市では使用条件が決められていることもありますので、下水道局などの指示に従い、
増量の必要がある場合は、増量モードに設定してご使用ください。

＜フラットリモコン＞

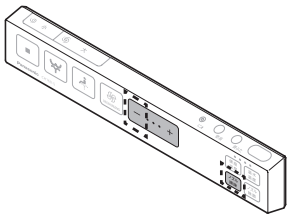
[ノズル掃除] と [弱] を同時に2秒以上押すごとに、洗浄水量が切り替わります。

＜スティックリモコン＞

[ノズル掃除] と [－ ・・・ ＋]（マイナス） を同時に2秒以上押すごとに、洗浄水量が切り替わります。



フラットリモコン

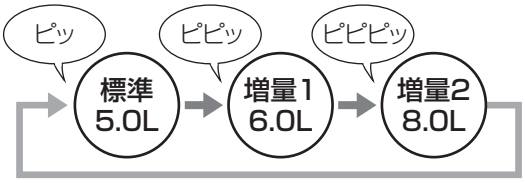


スティックリモコン

●CH1602＊G（フラットリモコン）の場合＊：[ノズル洗浄] と [－] を同時に2秒以上押す。

●CH1602＊G（スティックリモコン）の場合＊：[○ 管理モード] と [ ] を同時に2秒以上押す。

＊CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

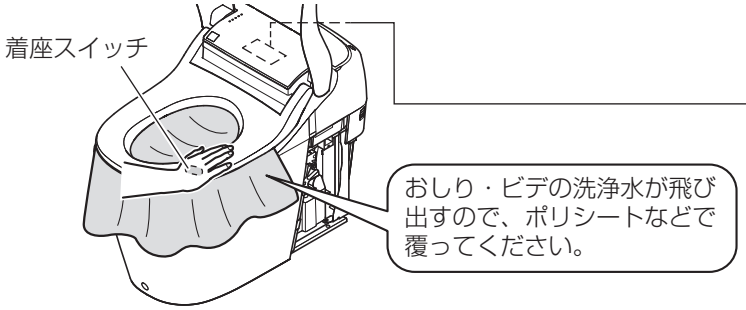



出荷時は標準に設定しています。

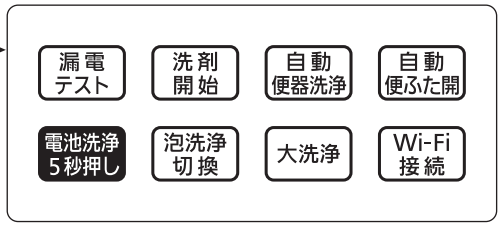
**お知らせ**
- ●下水管の設置条件が悪い場合、（下水本管までの距離が長い・下水管の曲がり部が多い・下水管こう配が緩いなど）洗浄水量が少ないと汚物が下水管内で詰まるおそれがあります。洗浄水量を増量モードにしてご使用ください。ただし、小洗浄の洗浄水量の増量はできません。
- ●下水管の設置条件については、水道工事事業者（施工店）に確認してください。

# 試運転　下記手順に従って、各機能をチェックしてください。

## ■CH1601




本体ボタン（CH1601）の場合




CH1601

フラットリモコン（CH1601）の場合

**小**
小洗浄を行います。

**便座**
便座を開閉します。

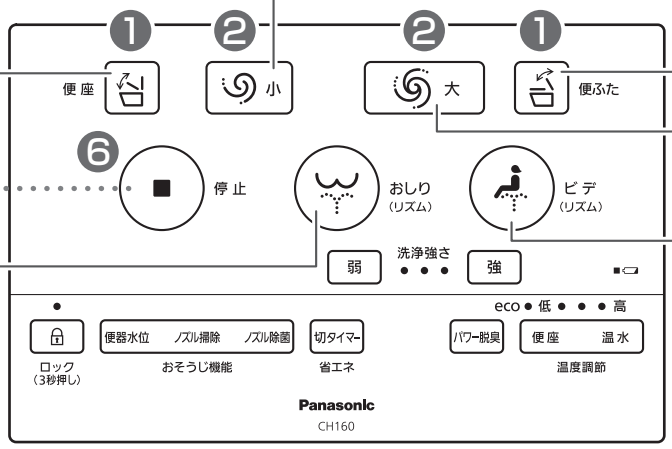
**便ふた**
便ふたを開閉します。

**停止**
おしり洗浄、ビデ洗浄、ムーブを停止します。

**大**
大洗浄を行います。

**おしり**
おしり洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

**ビデ**
ビデ洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。




CH1601

---

❶ 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初めの数回は、泡が出ないことがあります。
その場合は、再度本体ボタンの［洗剤開始］を押してください。
（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）
それでも泡が出ない場合は…
- ●洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- ●洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

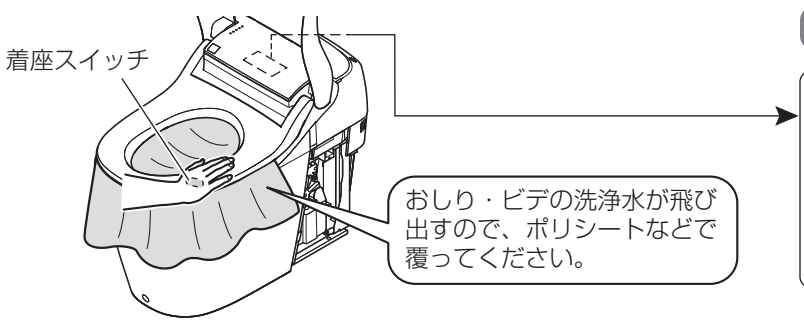
❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。
■停止 で止まりますか。

▼

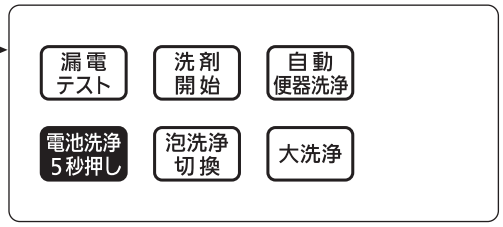
動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

**以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。**

## ■CH1602・CH1602＊G　※イラストはCH1602で説明しています。




**本体ボタン（CH1602）の場合**




CH1602

**フラットリモコン（CH1602・CH1602＊G）の場合**

**小**
小洗浄を行います。

**ハネ抑制**
水面が下がり、泡で覆われます。

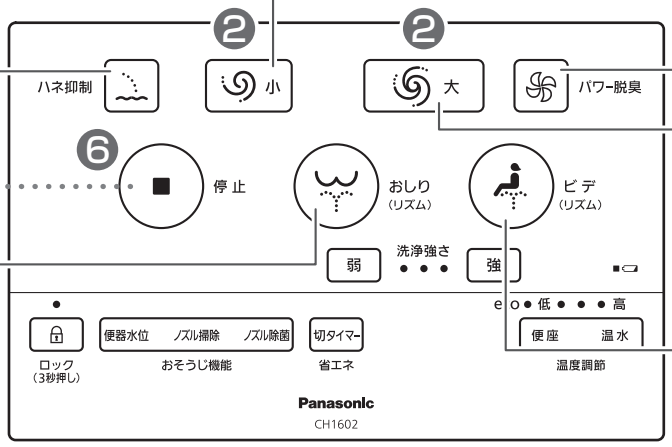
**パワー脱臭**
オート脱臭（着座時）の約1.5倍の風量で脱臭します。

**停止**
おしり洗浄、ビデ洗浄、ムーブを停止します。

**大**
大洗浄を行います。

**おしり**
おしり洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

**ビデ**
ビデ洗浄がスタートします。再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。




CH1602

---

❶ 便座・便ふたが、手でスムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。
初めの数回は、泡が出ないことがあります。
その場合は、再度本体ボタンの［洗剤開始］＊を押してください。
（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）
それでも泡が出ない場合は…
- ●洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- ●洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。
■停止 で止まりますか。

▼

動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

**以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。**

＊ CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

## スティックリモコン（CH1601）の場合

**大**

大洗浄を行います。

**小**

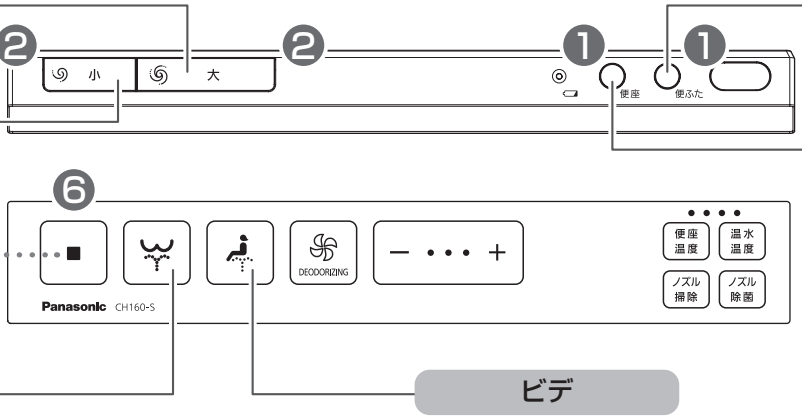
小洗浄を行います。

**便ふた**

便ふたを開閉します。

**便座**

便座を開閉します。




**停止**

おしり洗浄、ビデ洗浄を停止します。

**おしり**

おしり洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

**ビデ**

ビデ洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

---

## スティックリモコン（CH1602・CH1602＊G）の場合

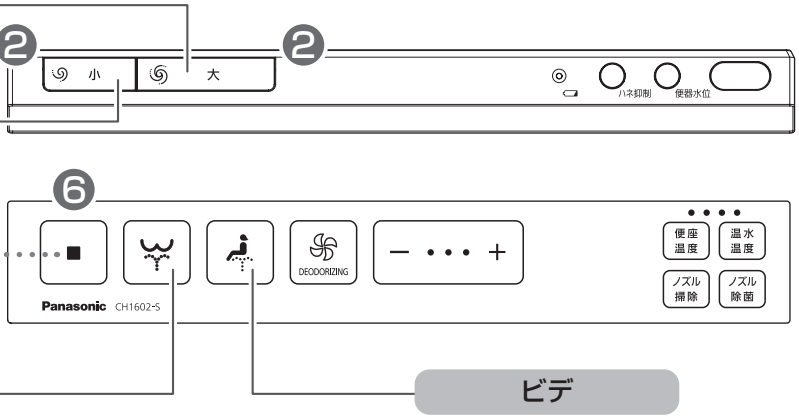
※イラストはCH1602で説明しています。

**大**

大洗浄を行います。

**小**

小洗浄を行います。




**停止**

おしり洗浄、ビデ洗浄を停止します。

**おしり**

おしり洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

**ビデ**

ビデ洗浄がスタートします。
再度押すと強弱を繰り返すリズム洗浄になります。

---

❶ 便座・便ふたが、スムーズに開閉しますか。

▼

❷ 大洗浄・小洗浄はできますか。
大洗浄時に洗剤の泡が出ますか。

初めの数回は、泡が出ないことがあります。

その場合は、再度本体ボタンの 洗剤開始 ＊を押してください。

（約1分～2分後「ピー」と鳴って洗剤供給が終了してから次の操作を行ってください）

それでも泡が出ない場合は…

- ●洗剤タンクが十分差し込まれていない ➡ 最後まで押し込む
- ●洗剤が不足している ➡ 洗剤タンクの8分程度まで洗剤を入れる

▼

❸ 便座は温まっていますか。

※以下の操作は、便座の**着座スイッチ部を押さえながら**ボタンを押す。

❹❺ 電源、自動洗浄、洗剤切換ランプの点滅は停止しますか。
ノズルが出てきますか。
温水になっていますか。

■ 停止 で止まりますか。

▼

動作に異常がみられる場合は、取扱説明書「故障かな?」をご確認ください。

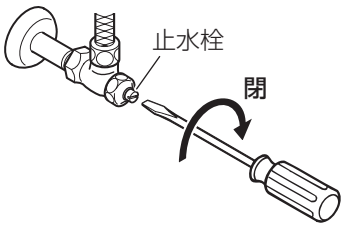
**以上、試運転後、床面に水漏れがないか確認してください。**

＊ CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

# ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

施工直後は、ストレーナに配管内の水あかやごみ、シールテープ、壁裏配管の劣化による
鉄さびなどが詰まり、洗浄性能が得られなくなります。
**試運転後、必ずストレーナの掃除をしてください。**

**1** 止水栓を閉める




**⚠注意**

禁止 **止水栓を開いたままストレーナを外さない**
水が噴き出し拡大損害になります。

**2** 水受けをストレーナの下に置く

お願い

- **必ず水受けを置いてください。**
  50cc～100cc程度水が出るので、ストレーナを締めるまで水受けを用意してください。
- **便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。**

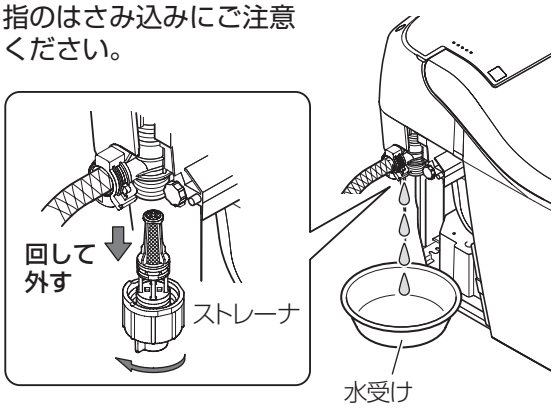
**3** リモコンの 大 または

本体ボタンの 大洗浄 を押す

「ピピピッピピピッ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

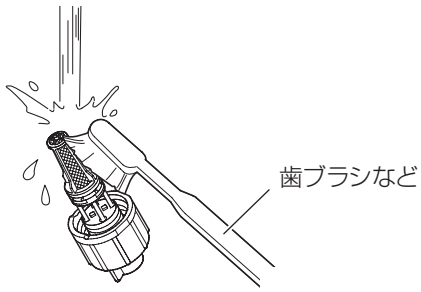
**4** ストレーナを外す

指のはさみ込みにご注意ください。




**5** ストレーナを水洗いする

歯ブラシなどを使い、きれいに水洗いする。

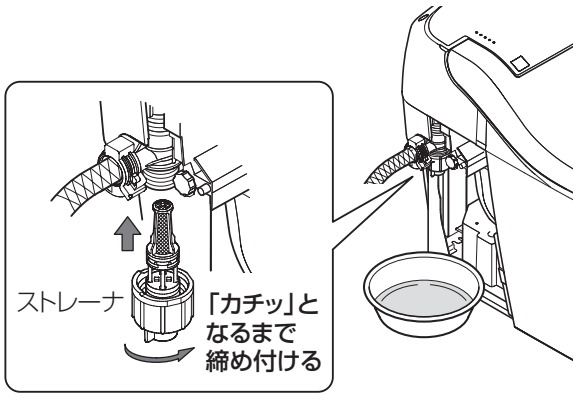



**⚠注意**

必ず守る
- **ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナはしっかりと締め付ける**
  水漏れの原因になります。

**6** ストレーナを取り付け、締め付ける

指のはさみ込みにご注意ください。




**7** 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

# 水抜き方法（施工後、長期間使用しない場合）

長期間使用しないときは、本体の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。
また、洗剤タンクを取り外して水洗いしてください。

＊CH1602＊Gの場合は取扱説明書の「管理モード」を参照ください。

**1** 止水栓を閉める

**2** 水受けをストレーナの下に置く

お願い **●必ず水受けを置いてください。**

約700cc程度水が出るので、ストレーナを締めるまで水受けを用意してください。

**●便器や床に水がかかった場合は必ずふき取ってください。**

**3** リモコンの 大 または

本体ボタンの 大洗浄 を押す

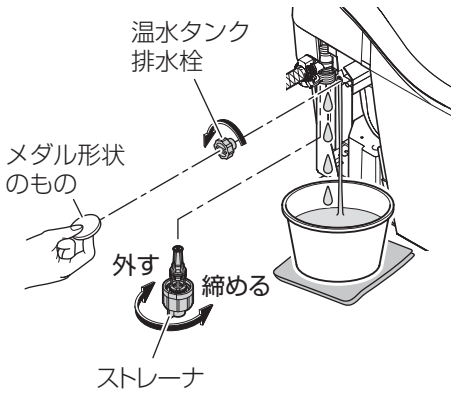
「ピピピッピピピッ」と鳴り、洗剤洗浄ランプが点滅するまでしばらくお待ちください。

**4** 水抜きをする

① ストレーナを外す。

② 温水タンク排水栓をメダル形状のもので外す。

③ 本体ボタンの 自動便器洗浄 ＊ を5秒間押す。




④ 水が出なくなったら ■ 停止 を押す。

**5** アラウーノ専用手洗い連動水栓をご使用の場合

手洗いの施工説明書に従って水抜きを行ってください。

**6** ストレーナおよび温水タンク排水栓を元通りに取り付ける

**7** 洗剤タンクを水洗いし、洗剤の経路を洗浄する

取扱説明書60ページを参照してください。

**⚠注意**

| | |
|---|---|
| 禁止 | **止水栓を開いたままストレーナを外さない**<br>水が噴き出し拡大損害になります。 |
| 必ず守る | **ストレーナはしっかりと締め付ける**<br>水漏れの原因になります。 |

**8** 電源プラグを抜く

**9** リモコンの乾電池を抜く

お願い

**●便器ボール面の水たまりがなくならないように定期的に水の補充を行ってください。**

封水切れとなり、下水臭気・腐食性ガスが逆流し、金属・電子部品の腐食・故障の原因となります。

**●定期的に水の補充が行なえない場合、便器内のため水を排水し、水を入れたビニール袋で排水口をふさいでください。**

# シーリング方法 CH1602＊Gのみ

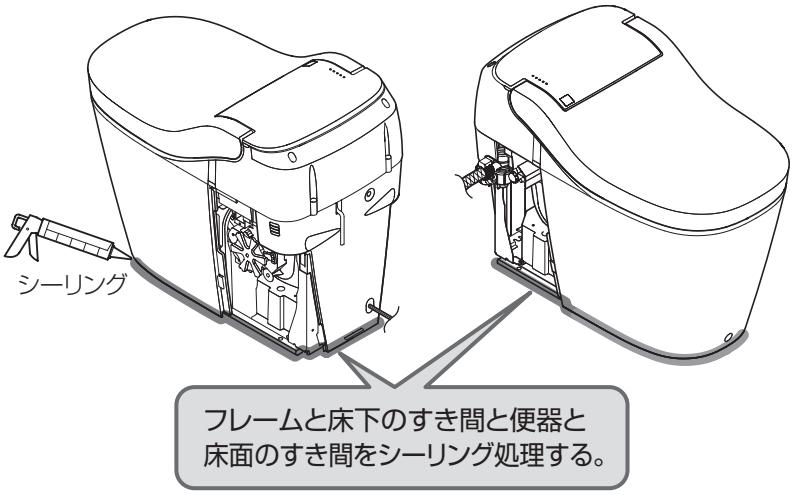
シーリング材が乾いてから、サイドカバーの取り付け（下記参照）を行ってください。

現場手配…シーリング材

フレームと床面のすき間、および便器と床面のすき間をシーリング処理する

お願い

**サイドカバーは必ず取り外してください。**




# サイドカバーの取り付け

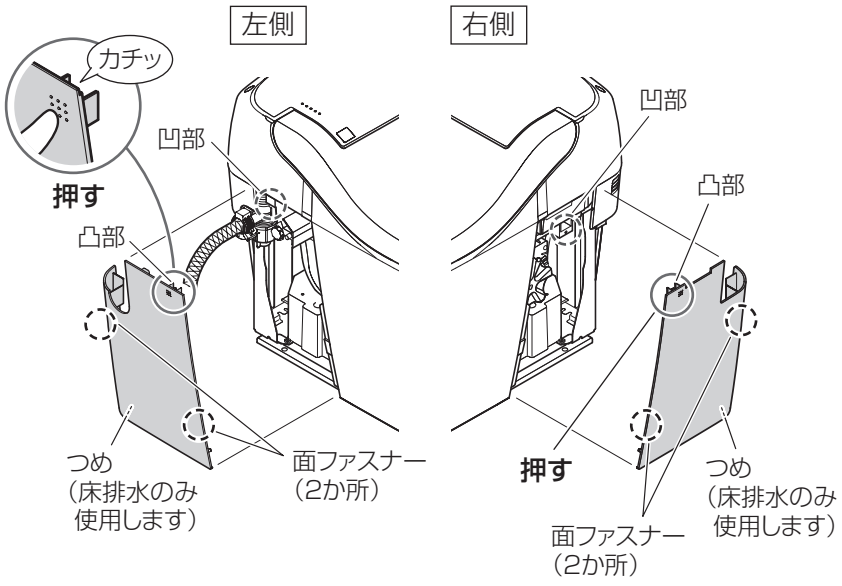
**1** サイドカバーの凸部を便器の凹部に合わせ、カバーの ⁘ 部を押す
（カチッと鳴ります）

**2** 面ファスナーとつめの部分を押し込む
（面ファスナー2か所と、つめ1か所）

お願い

**サイドカバーと床の間をシーリングしないでください。**

サイドカバーが外れなくなります。

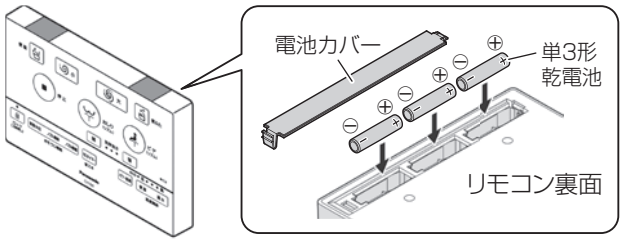


# リモコンのアドレス変更

アラウーノを２台以上設置する場合は、チャンネル変更を実施してください。

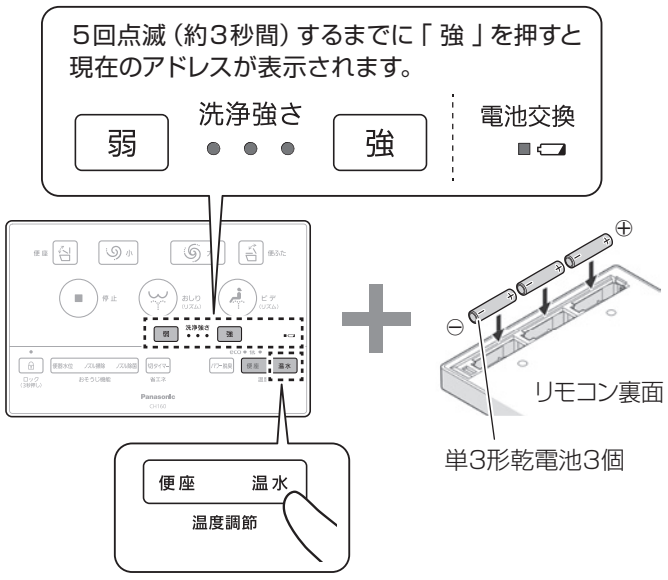
## 1 リモコンの乾電池3個を取り外す

内部回路を完全に放電させるために、
**リモコンのおしりボタンを複数回押してください。**




### フラットリモコンの場合

## 2 リモコンの 温水 を押しながら乾電池を入れる




## 3 洗浄強さLEDの 弱 強 を押し、

点灯位置が変わるので希望チャンネルに合わせる

※設定後、しばらく放置するか、「弱」「強」スイッチ以外のスイッチを押すと、LEDが消灯してアドレス変更モードを終了します。

30秒以内に完了しないとアドレス変更モードが終了します。

**初期設定1ch** ※1～10chまで可能

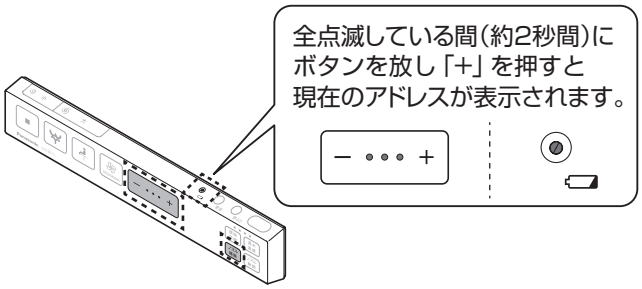
●：点灯　○：消灯

| チャンネル | ランプ点灯位置 |
|---|---|
| 1ch | 弱 洗浄強さ ● ○ ○ 強 電池交換 □ |
| 2ch | 弱 洗浄強さ ○ ● ○ 強 電池交換 □ |
| 3ch | 弱 洗浄強さ ○ ○ ● 強 電池交換 □ |
| 4ch | 弱 洗浄強さ ○ ○ ○ 強 電池交換 ■ |
| 5ch | 弱 洗浄強さ ● ● ○ 強 電池交換 □ |
| 6ch | 弱 洗浄強さ ● ○ ● 強 電池交換 □ |
| 7ch | 弱 洗浄強さ ● ● ● 強 電池交換 □ |
| 8ch | 弱 洗浄強さ ● ○ ○ 強 電池交換 ■ |
| 9ch | 弱 洗浄強さ ● ● ○ 強 電池交換 ■ |
| 10ch | 弱 洗浄強さ ● ● ● 強 電池交換 ■ |

## スティックリモコンの場合

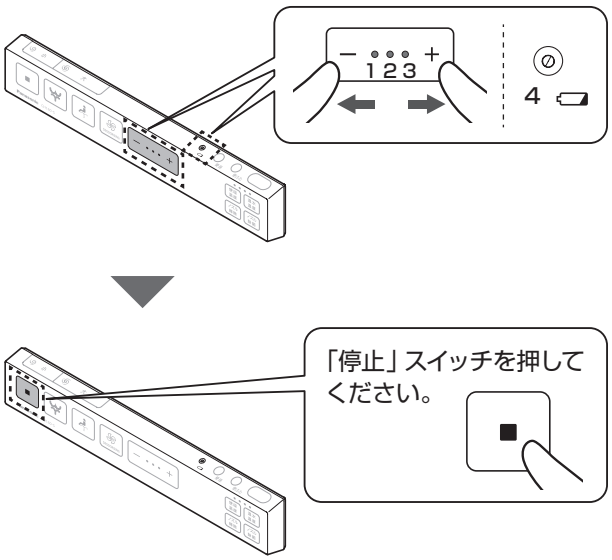
**2** リモコンの ノズル掃除 を押しながら乾電池を入れる

※CH1602＊Gは ノズル洗浄



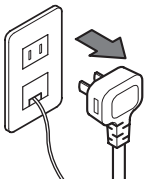

**3** 洗浄強さ − ••• + を押し、点灯位置が変わるので希望チャンネルに合わせる

**初期設定1ch** ※1～4chまで可能




**4** アラウーノ便器本体の電源プラグを抜く

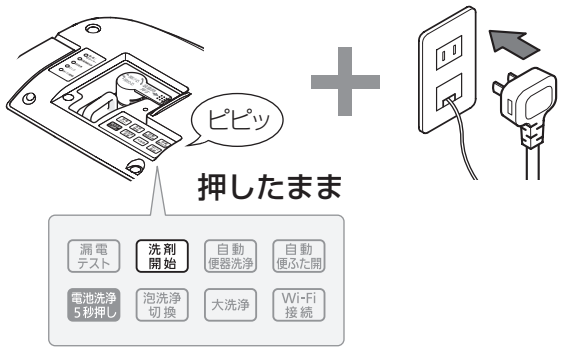
**10秒以上放置してください。**



**5** アラウーノ本体ボタンにある 洗剤開始 を押したままで、電源プラグを差し込む

※電源プラグを差し込んだ後「ピッ」音が鳴ります。

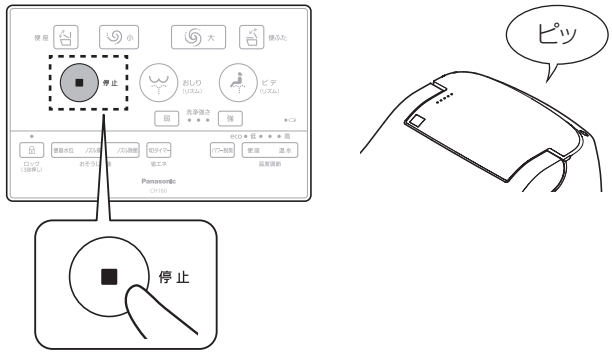
**『洗剤開始』スイッチは「ピピッ」音がするまで、5秒以上押し続けてください。**




本体ボタン(CH1601)

**6** 5秒以内に、リモコンの ■ 停止 を押す

※変更が完了するとアドレス変更確認音「ピッ」が鳴ります。




- ●設定完了後、洗浄などで設定確認および信号が干渉しないか確認してください。
- ●リモコン裏面にチャンネル変更がわかるように「2ch」など記載しておきましょう。

# 施工後の確認

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

| No. | チェック項目 | 結果 |
|---|---|---|
| 1 | 浴室内など、湿気の多い場所に設置していませんか？ | |
| 2 | 中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？ | |
| 3 | 便器にがたつきがありませんか？ | |
| 4 | 便器は床に固定しましたか？ | |
| 5 | 「止水栓」は開いていますか？ | |
| 6 | 交流100 V 15 Aに適した電源コンセントに接続していますか？ | |
| 7 | アース線はアース端子に接続していますか？ | |
| 8 | 電源コンセントにがた・緩みはありませんか？ | |
| 9 | サイドカバーは確実に取り付けていますか？ | |
| 10 | 洗浄ボタンを操作し、次項を確認してください。 | |
| | ●大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？ | |
| | ●洗浄水は、一周まわっていますか？一周まわらない場合は、<br>①水圧を確認してください。<br>②ストレーナを掃除してください。 | |
| | ●便器と床面に水漏れはありませんか？ | |
| | ●配管部の水漏れはありませんか？<br>（事前に配管をふき、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。） | |
| | ●大洗浄時に泡は出ていますか？ | |
| 11 | 温水洗浄便座は正常に動作しているか確認しましたか？ | |
| 12 | ストレーナの掃除をしましたか？ | |
| 13 | 長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？（この場合、便器ボール面の水の補給が必要です。） | |
| 14 | 長期間使用しない場合、ため水を足すか、ビニール袋に水を入れて排水口をふさぐようお客様にお伝えください。 | |

# 引き渡し

取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明ください。
施工説明書、取扱説明書、保証書（別添付）に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。
※CH1602＊Gの場合、保証書は取扱説明書付きです。

| 施工日 | 施工店名 | 担当者 |
|---|---|---|
| | | |

# MEMO

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2021
SEMS134
D0221-1091